

## 急性呼吸器感染症サーベイランス週報:

2025 年第 17 週(2025 年 4 月 21 日~2025 年 4 月 27 日)

Acute Respiratory Infection Surveillance Weekly Report: Epidemiologic Situational Awareness

Week 17, 2025

本報は全国から報告された急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection、以下、ARI という)のサーベイランス報告を精査してまとめています。ARI、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、小児科および内科からなる急性呼吸器感染症定点から、RS ウイルス感染症、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、小児科定点から報告されています。週ごとの「傾向(トレンド)」と「水準(レベル)」を踏まえ、感染の流行の状況について、解釈を行っています。地方自治体等で感染症対策に従事する皆様や国民の皆様に、広く疫学情報を提供・還元することを目的としています。巻末に本報に関する注意事項を記載してあります。なお報告数は暫定値であり、変更の可能性があることにご注意下さい。

### 今週の状況(概要):

2025 年第 17 週(4 月 21 日~4 月 27 日)における ARI の定点当たり報告数は 62.18(報告数 237,731 例)であり、前週(4 月 14 日~4 月 20 日)に比較して増加した。各感染症の定点当たり報告数では、インフルエンザが 1.09、COVID-19 は 1.39、RS ウイルス感染症は 0.72、咽頭結膜熱は 0.39、ヘルパンギーナは 0.03、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2.83 であった。前週に比較してインフルエンザは減少、COVID-19 は減少、RS ウイルス感染症は減少、咽頭結膜熱は増加、ヘルパンギーナは増加、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加した。

年齢群別に見ると、報告数が最も多かった年齢群は前週と比較して上記の全ての感染症で変わりなかった。ARI の定点当たり報告数が 80 を上回った都道府県は 7 件であった。定点当たり報告数が多かった上位 3 都道府県は、インフルエンザでは佐賀県、秋田県、岩手県、COVID-19 では新潟県、山梨県、山形県、RS ウイルス感染症では鹿児島県、新潟県、宮崎県、咽頭結膜熱では鹿児島県、福井県、宮崎県、ヘルパンギーナでは岡山県、滋賀県、秋田県、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎では富山県、茨城県、埼玉県であった。新規入院患者数をみると、インフルエンザは 89 例で前週と比較して 4 例減少した。COVID-19 は 578 例で前週と比較して 310 例減少した。

2025 年第 17 週(4 月 21 日~4 月 27 日)に検体が採取され、病原体サーベイランスとして報告された病原体の陽性数は、インフルエンザウイルス A 型が 0 件、インフルエンザウイルス B 型が 3 件、SARS-CoV-2 が 7 件、RS ウイルスが 5 件であった。

## 目次

今週の状況(概要):.....	1
1. 患者サーベイランス .....	3
1.1. 全国の定点当たり報告数 .....	3
1.2. 全国の年齢群別報告数.....	5
1.3. 都道府県別の定点当たり報告数.....	8
1.4. 全国のインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数.....	21
2. 病原体サーベイランスの状況.....	22
2.1. 全国の病原体別報告数.....	22
2.2. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス .....	26
注意事項 .....	27
地域の定義 .....	27
参考サイト .....	27
参考: 各感染症の週ごとの都道府県別定点当たり報告数.....	29

## 1. 患者サーベイランス

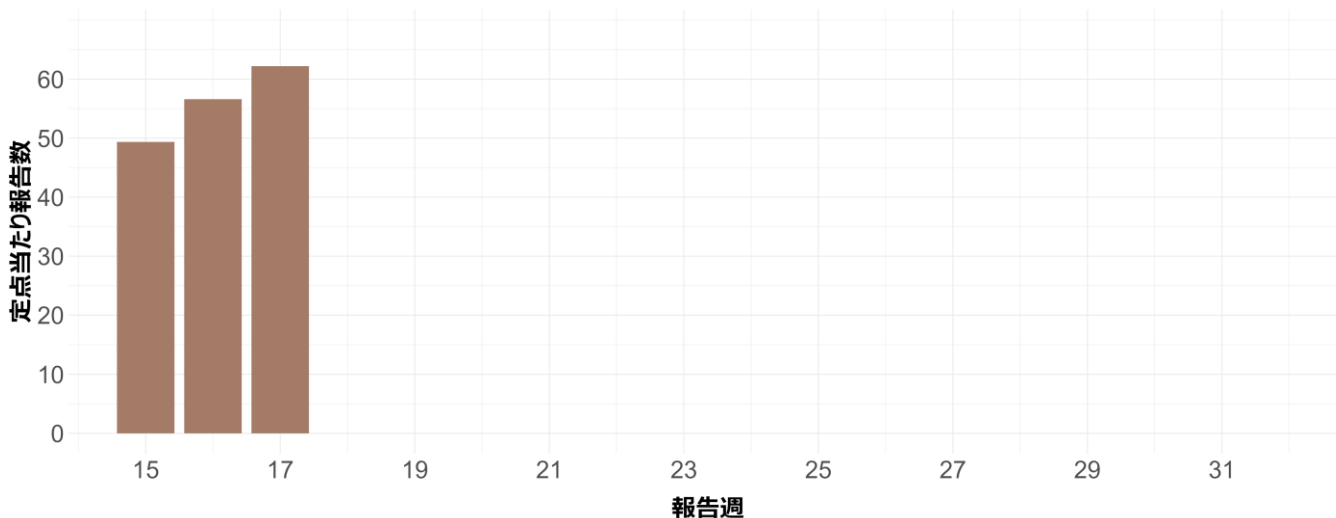
### 1.1. 全国の定点当たり報告数

2025年第17週(4月21日～4月27日)におけるARIは、3,823カ所の急性呼吸器感染症定点から報告され、定点当たり報告数は62.18(報告数237,731例)であった(図1)。前週比は1.10であった。

急性呼吸器感染症定点から報告されたインフルエンザは1.09(報告数4,209例)、COVID-19は1.39(報告数5,360例)であった(図1A)。なお、報告定点数は3,850カ所であった。

小児科定点から報告されたRSウイルス感染症は0.72(報告数1,686例)、咽頭結膜熱は0.39(報告数923例)、ヘルパンギーナは0.03(報告数67例)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2.83(報告数6,672例)であった(図1B)。なお、報告定点数は2,358カ所であった。前週(4月14日～4月20日)に比較してインフルエンザは減少、COVID-19は減少、RSウイルス感染症は減少、咽頭結膜熱は増加、ヘルパンギーナは増加、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加した。

図1: 週ごとのARIの定点当たり報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日～2025年4月27日)

図 1A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の定点当たり報告数

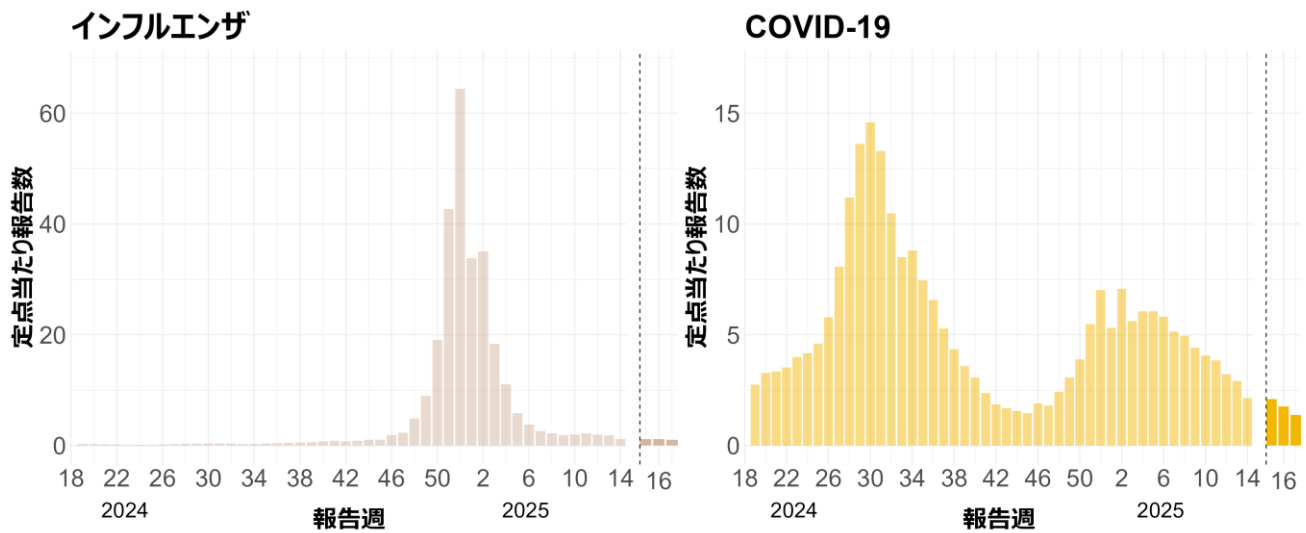
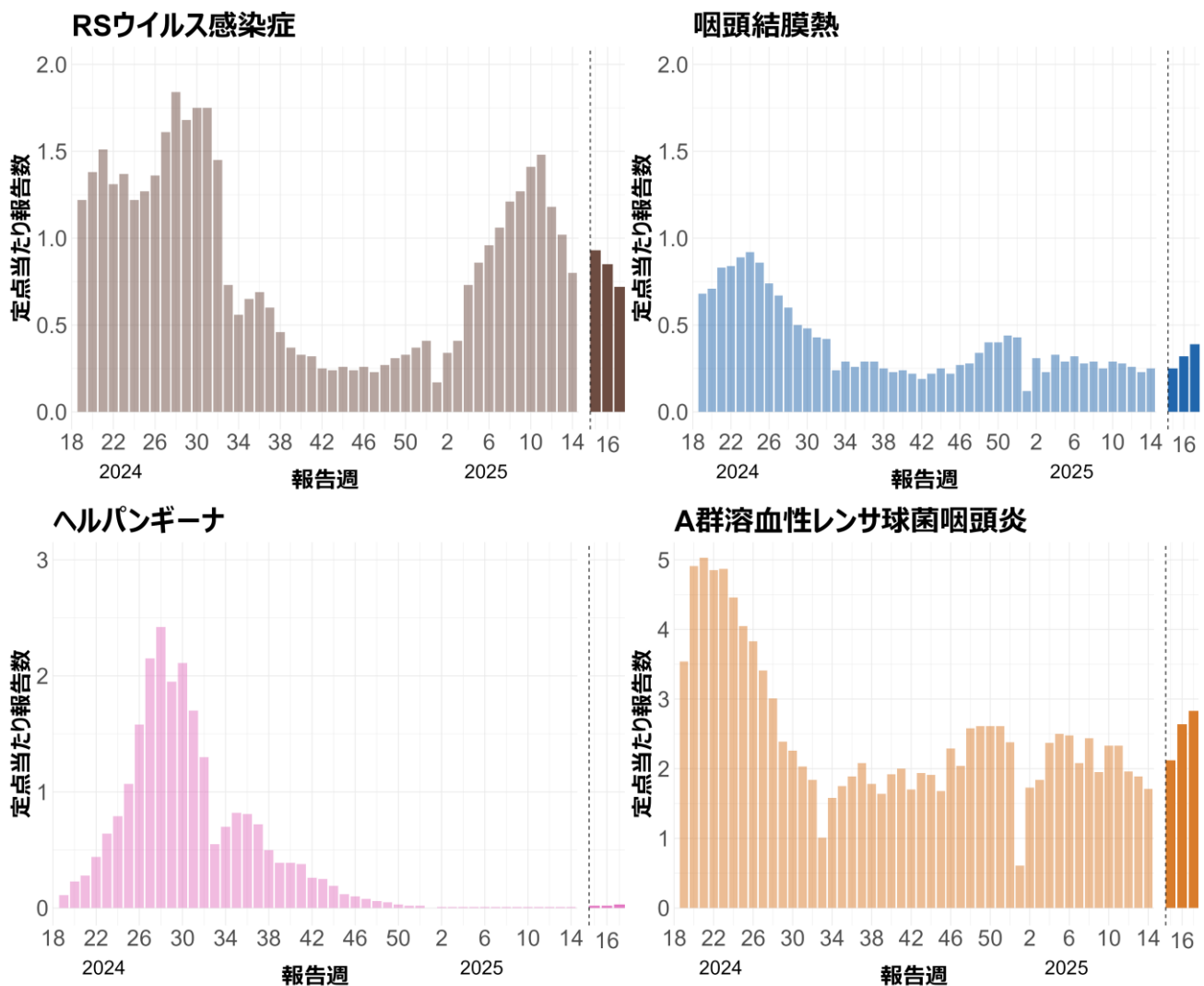


図 1B: 週ごとの感染症別の定点当たり報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2024年4月29日~2025年4月27日)

注)報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

注)定点数の変更をうけて、2025年第14週と第15週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。

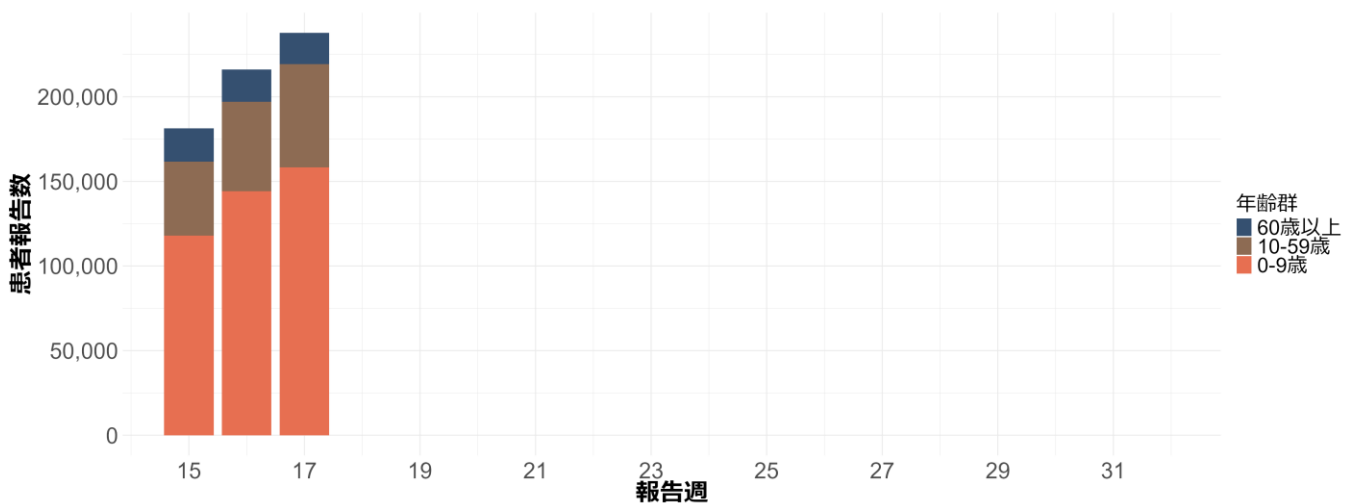
注)2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19定点(約5,000医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000医療機関)に変更、小児科定点は約3,000医療機関から約2,000医療機関に変更された。

## 1.2. 全国の年齢群別報告数

2025年第17週に定点から報告されたARIの報告数を、年齢群別にみると0-9歳では158,268例(前週比1.10)、10-59歳では61,032例(前週比1.15)、60歳以上は18,431例(前週比0.97)であり、60歳以上では横ばいであったが他の年齢群は増加した(図2)。

各感染症の年齢群別報告数の推移をみると、インフルエンザは0-9歳では減少、10-59歳では横ばい、60歳以上では増加し、COVID-19では全ての年齢群で減少した(表1A)。またRSウイルス感染症は0歳、1-4歳、5-14歳の各年齢群では減少、15歳以上では増加した。咽頭結膜熱は0歳、1-4歳、5-14歳、15歳以上の全ての年齢群で増加した。ヘルパンギーナは0歳、1-4歳、5-14歳では増加したが、15歳以上では減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は0歳および1-4歳では横ばい、5-14歳、15歳以上では増加した(表1B)。週ごとの年齢群別報告数を図2Aおよび図2Bに示す。

図2: 週ごとのARIの年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年4月27日)

図 2A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

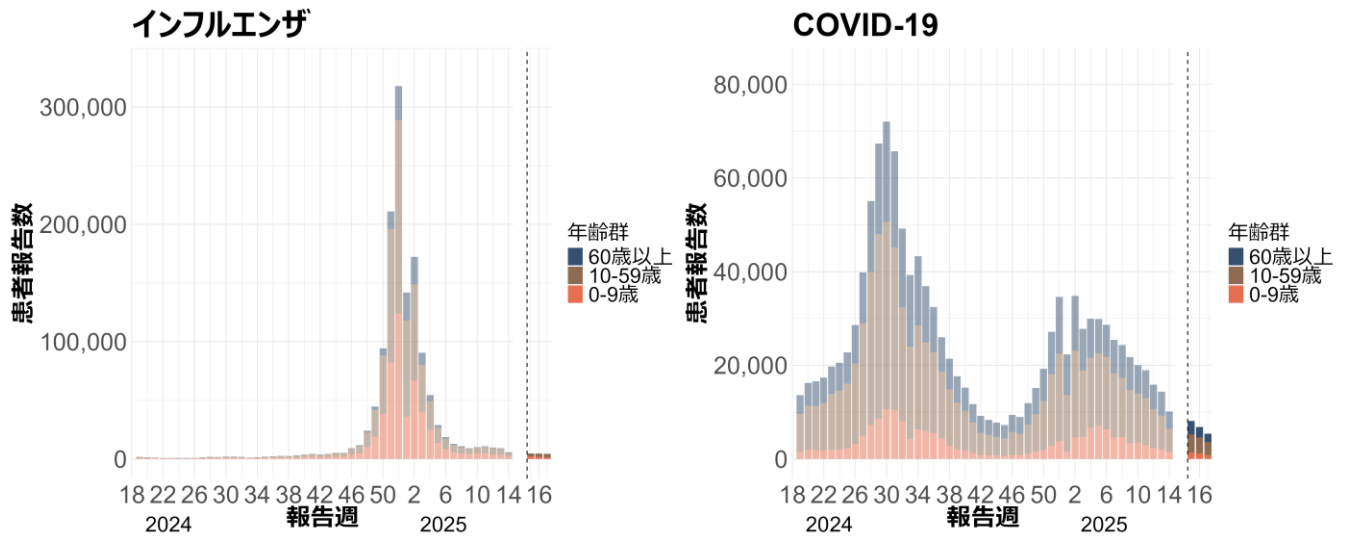
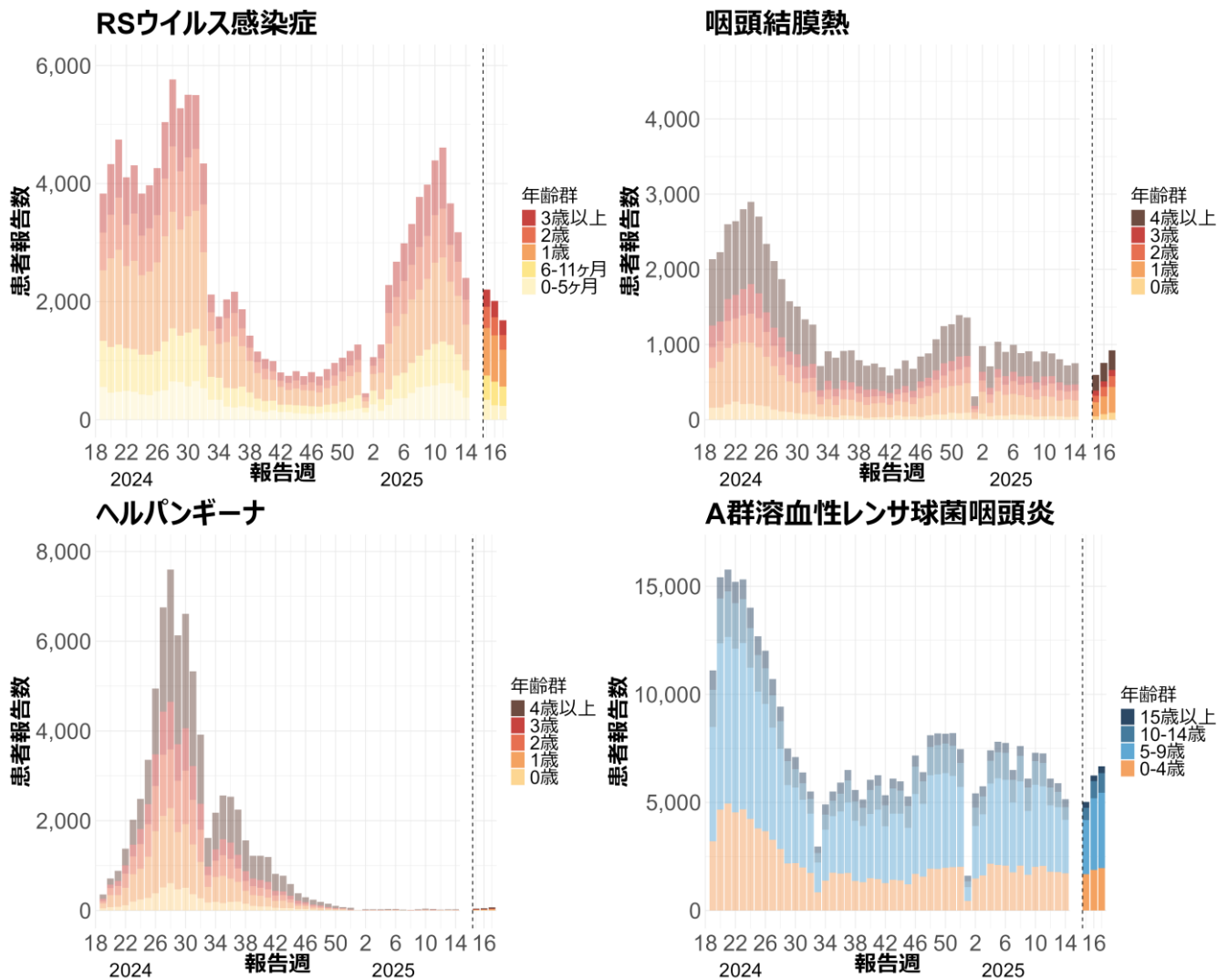


図 2B: 週ごとの感染症別の年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2024年4月29日~2025年4月27日)

注)報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

注)定点数の変更をうけて、2025年第14週と第15週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。

注)2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点(約5,000医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000医療機関)に変更、小児科定点は約3,000医療機関から約2,000医療機関に変更された。

表 1A: 当該週におけるインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	1,582 (0.79)	851 (0.74)
10-59 歳	2,438 (0.99)	2,755 (0.80)
60 歳以上	189 (1.16)	1,754 (0.78)
計	4,209 (0.91)	5,360 (0.78)

表 1B: 当該週における感染症別の年齢群別報告数

年齢群	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
0 歳	561 (0.87)	92 (1.24)	9 (1.12)	45 (1.05)
1-4 歳	1,046 (0.82)	634 (1.26)	34 (1.48)	1,920 (1.04)
5-14 歳	65 (0.76)	185 (1.10)	23 (1.53)	4,386 (1.07)
15 歳以上	14 (1.27)	12 (1.09)	1 (0.50)	321 (1.21)

年齢群	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
計	1,686	923	67	6,672
	(0.84)	(1.22)	(1.40)	(1.07)

出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月21日~2025年4月27日)

注)カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週のIDWRで還元したデータを用いた。  
注)前週の報告数が0であった場合は、前週比の欄に「—」と表記する。

### 1.3. 都道府県別の定点当たり報告数

2025年第17週のARIの定点当たり報告数の上位3都道府県は、栃木県が105.51で最も多く、次いで岩手県が95.86、さらに山形県が87.08であった(表2)。定点当たり報告数が80を上回った都道府県は7件であった(図3A)。定点当たり報告数は32.11~105.51であった。定点当たり報告数が多かった上位3都道府県は、インフルエンザでは佐賀県、秋田県、岩手県であった。COVID-19では新潟県、山梨県、山形県であった。RSウイルス感染症では鹿児島県、新潟県、宮崎県であった。咽頭結膜熱では鹿児島県、福井県、宮崎県であった。ヘルパンギーナでは岡山県、滋賀県、秋田県であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では富山県、茨城県、埼玉県であった。インフルエンザおよびCOVID-19の定点当たり報告数が10を上回った都道府県は報告されなかった(図3B、表3)。

表2: 当該週における都道府県別ARIの定点当たり報告数

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
北海道	10,307	62.47	1.18
青森県	3,093	59.48	1.28
岩手県	4,218	95.86	1.02
宮城県	4,351	80.57	1.10
秋田県	1,555	64.79	1.24
山形県	3,309	87.08	1.08
福島県	3,740	77.92	1.05
茨城県	5,147	75.69	1.15
栃木県	4,959	105.51	1.07
群馬県	3,887	86.38	1.10



都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
埼玉県	13,822	80.83	1.19
千葉県	13,126	74.58	1.18
東京都	24,415	58.83	1.15
神奈川県	17,092	72.73	1.12
新潟県	3,584	70.27	1.08
富山県	4,081	85.02	1.06
石川県	2,705	56.35	0.95
福井県	2,013	51.62	1.02
山梨県	1,597	45.63	1.14
長野県	5,023	62.01	1.06
岐阜県	1,794	39.87	0.96
静岡県	6,380	46.23	1.05
愛知県	12,672	77.74	1.18
三重県	3,329	46.89	1.05
滋賀県	3,338	57.55	1.04
京都府	3,683	58.46	1.24
大阪府	12,468	42.70	1.08
兵庫県	9,207	56.83	1.07
奈良県	1,857	45.29	0.97
和歌山県	2,065	45.89	1.03
鳥取県	1,634	56.34	0.89
島根県	1,134	56.70	0.97
岡山県	3,846	76.92	1.22
広島県	4,889	52.01	1.11
山口県	4,137	65.67	1.06
徳島県	1,526	44.88	1.12

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
香川県	2,147	53.68	0.94
愛媛県	2,998	78.89	1.05
高知県	1,220	32.11	1.01
福岡県	5,914	48.48	1.11
佐賀県	1,443	65.59	0.99
長崎県	3,462	69.24	0.94
熊本県	3,739	51.22	0.96
大分県	3,146	54.24	1.09
宮崎県	1,475	52.68	0.84
鹿児島県	3,474	60.95	1.06
沖縄県	2,730	60.67	1.17

出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月21日~2025年4月27日)

注)前週の報告数は、当該週のIDWRで還元したデータを用いた。  
注)前週の報告数が0であった場合は、前週比の欄に「—」と表記する。

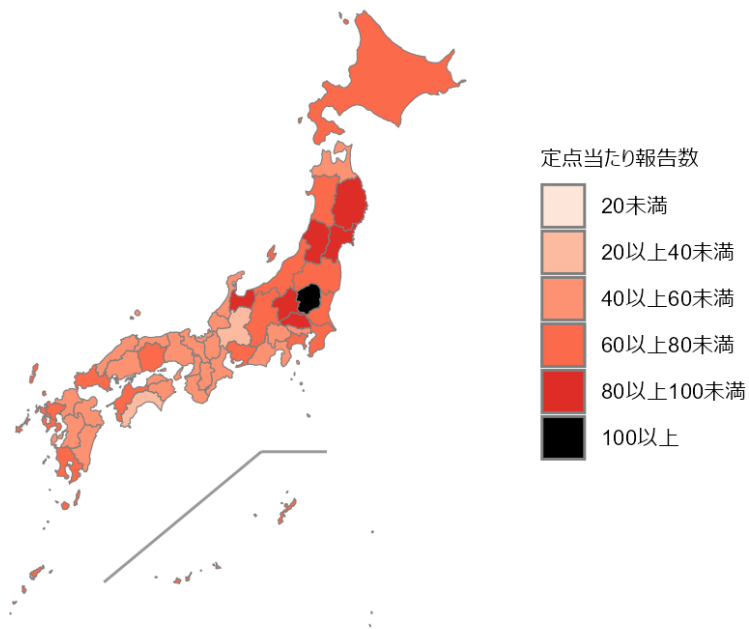
表 3: 当該週における感染症別定点当たり報告数の上位3都道府県

順位	インフルエンザ	COVID-19	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
1 都道府県	佐賀県	新潟県	鹿児島県	鹿児島県	岡山県	富山県
定点当たり報告数	3.38	3.11	2.06	1.10	0.11	5.34
2 都道府県	秋田県	山梨県	新潟県	福井県	滋賀県	茨城県
定点当たり報告数	3.24	2.74	1.80	1.00	0.09	4.87
3 都道府県	岩手県	山形県	宮崎県	宮崎県	秋田県	埼玉県
定点当たり報告数	2.84	2.56	1.67	1.00	0.08	4.63

出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月21日~2025年4月27日)

注) 定点当たり報告数が同値であった場合には、都道府県番号の昇順により記載する。

図 3A: 当該週における都道府県別 ARI の定点当たり報告数

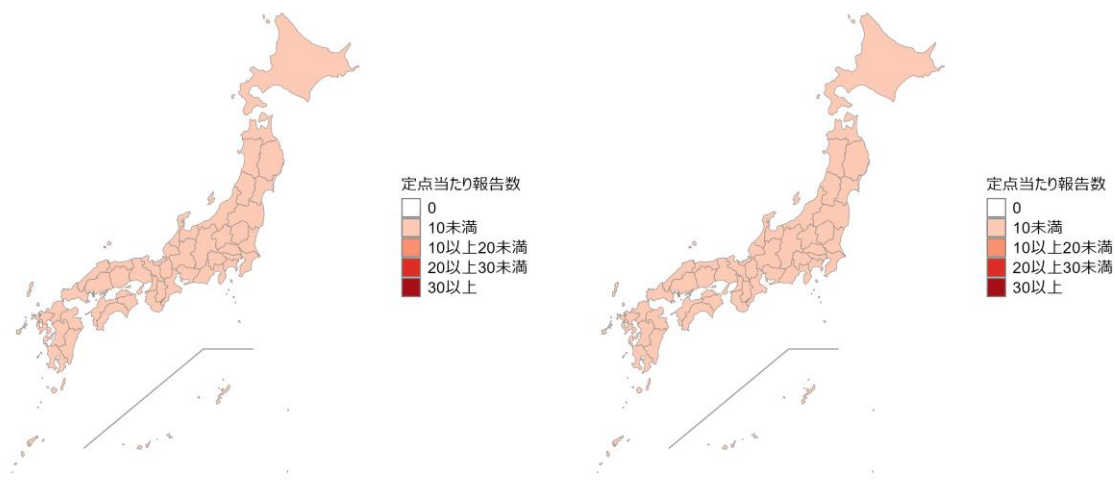


出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月21日~2025年4月27日)

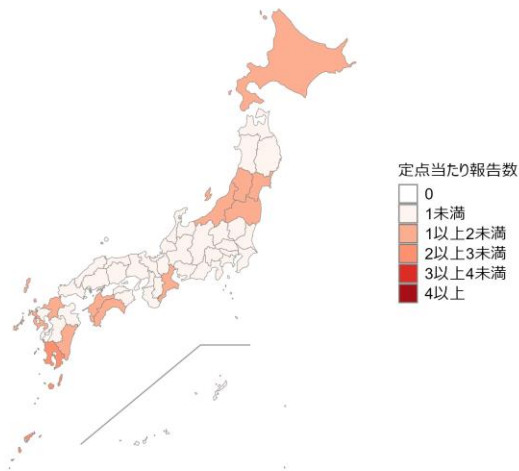
図 3B: 当該週における各感染症の都道府県別定点当たり報告数

インフルエンザ

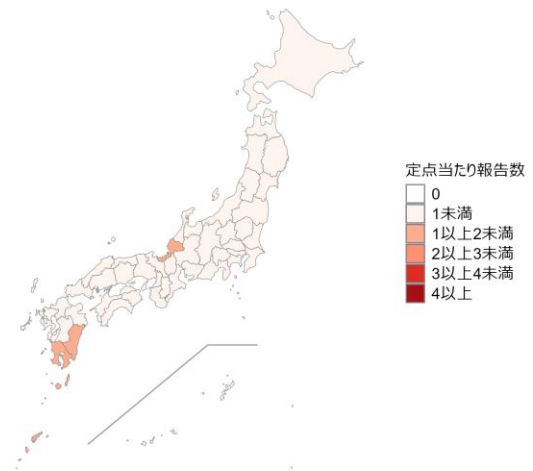
COVID-19



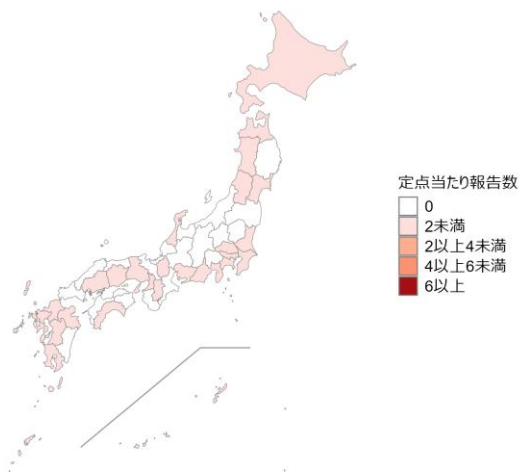
RSウイルス感染症



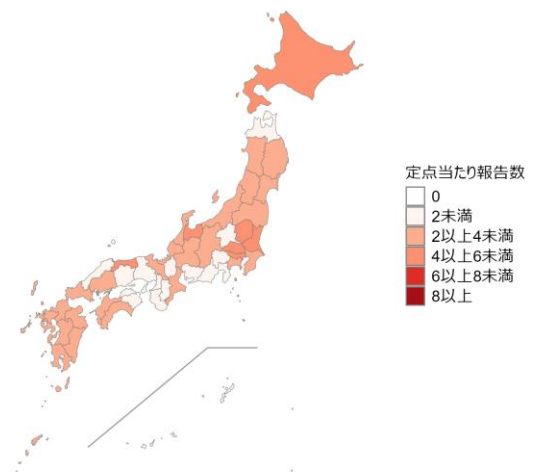
咽頭結膜熱



ヘルパンギーナ

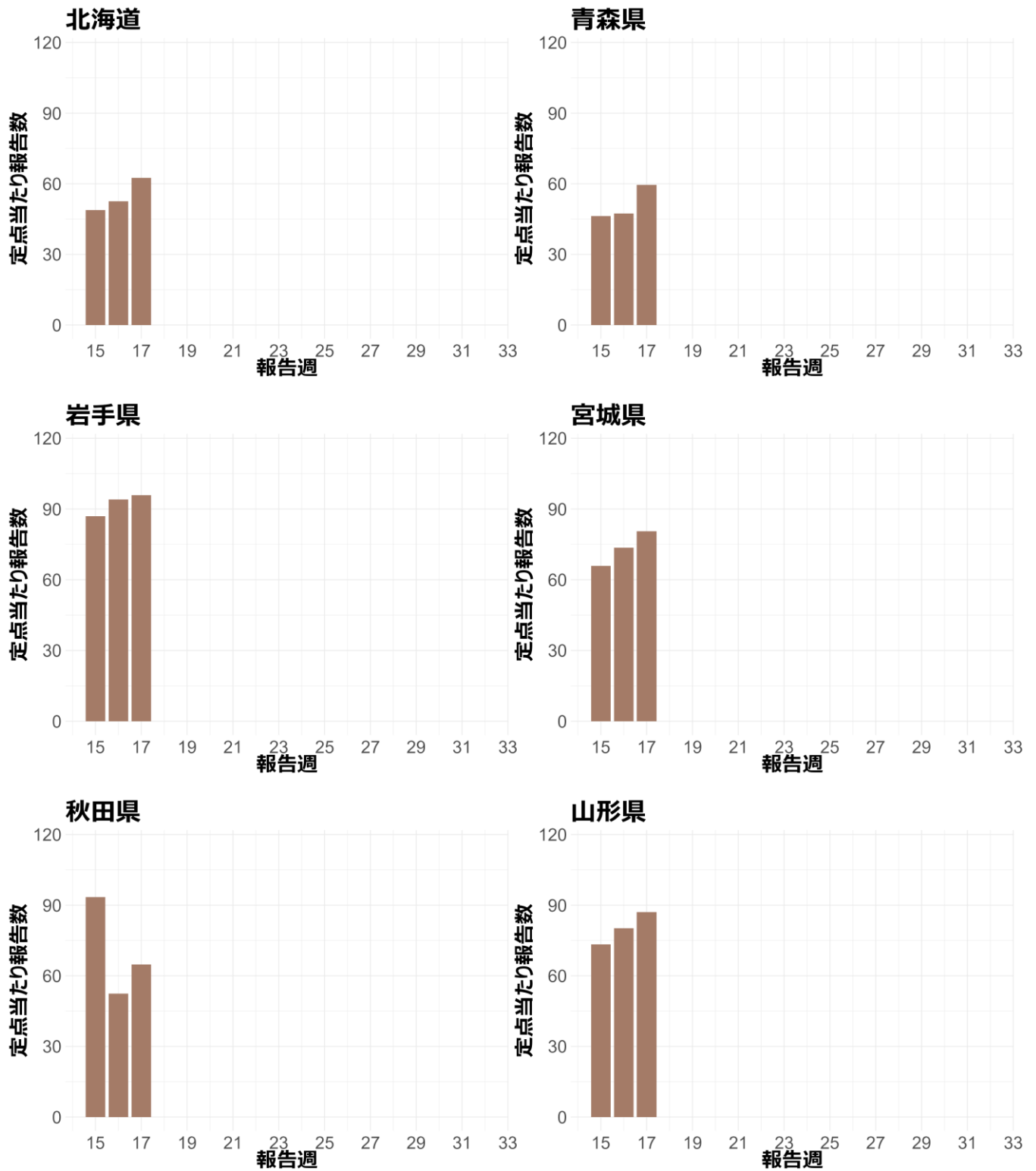


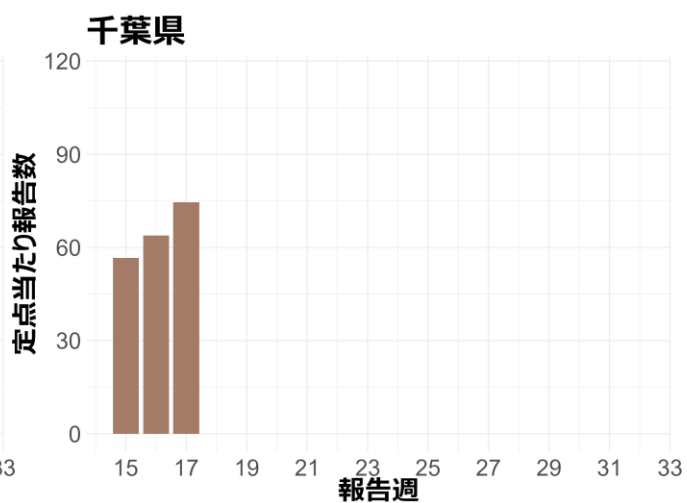
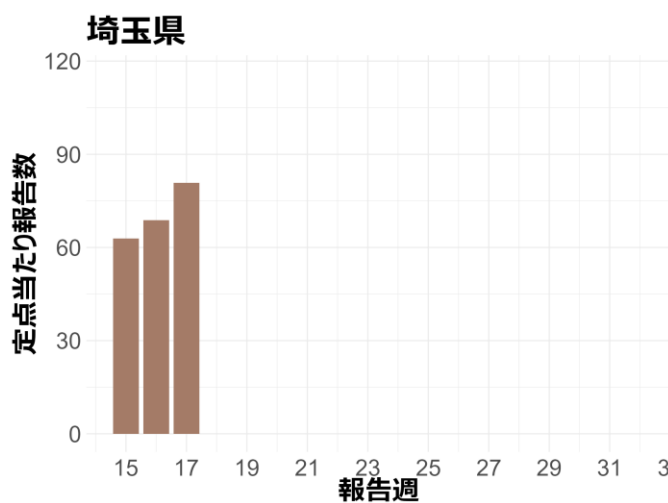
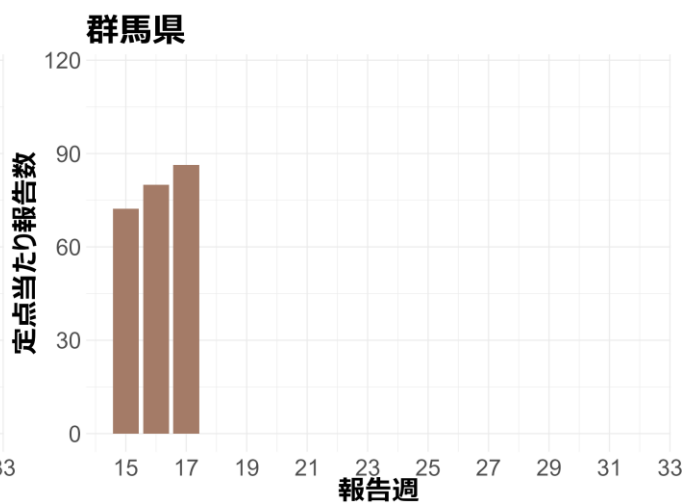
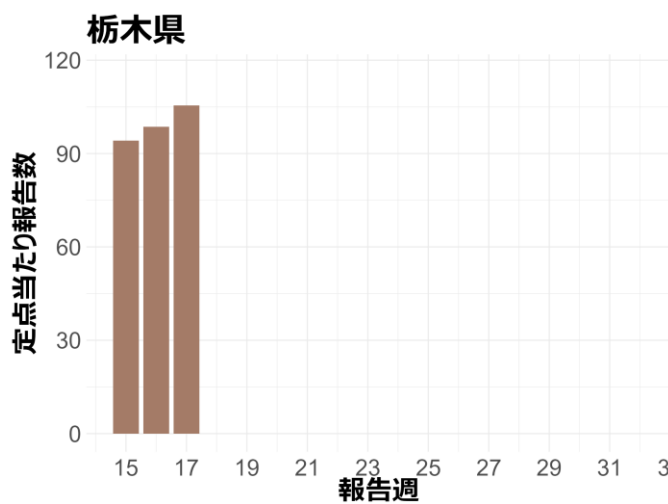
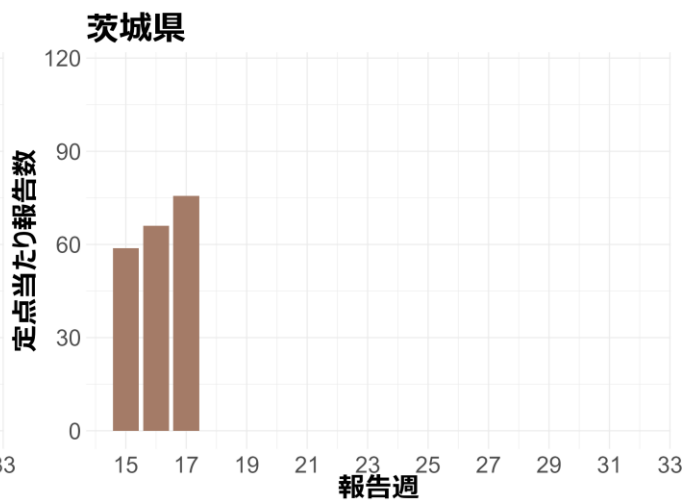
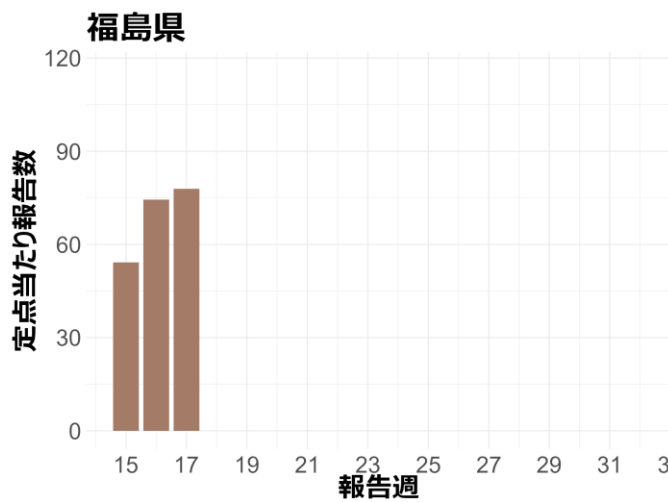
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

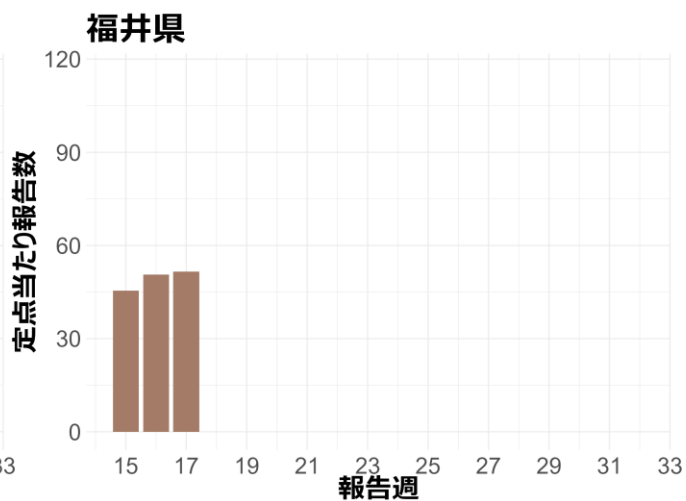
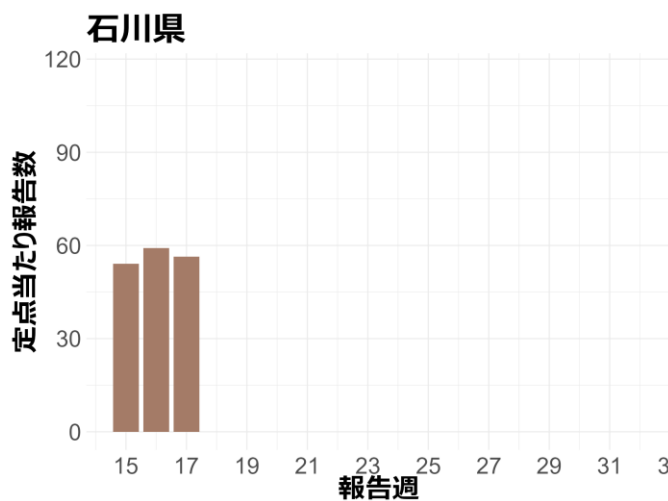
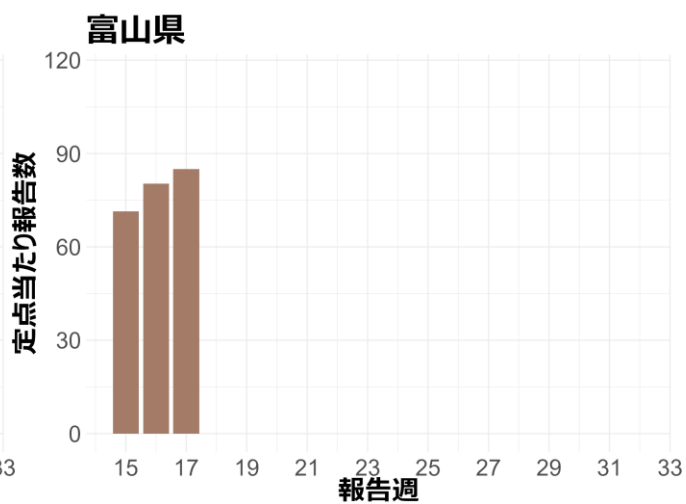
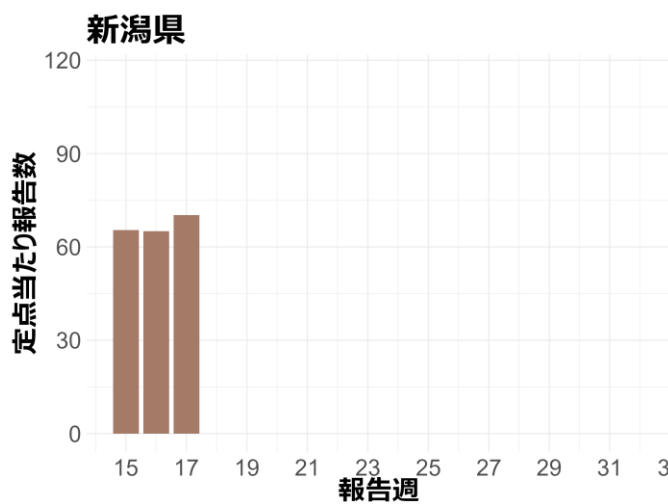
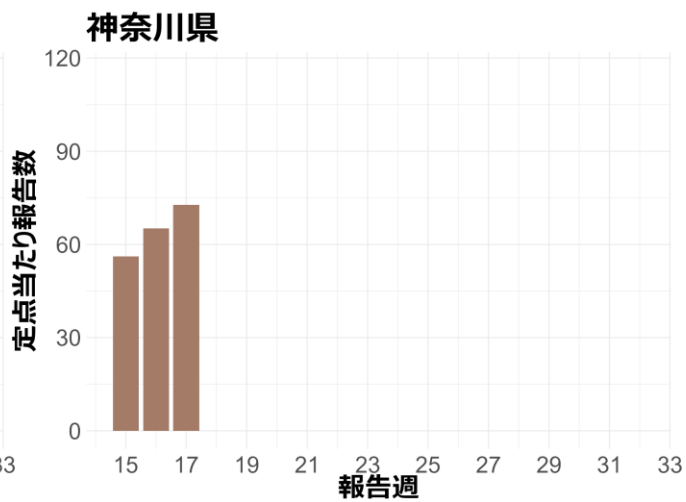
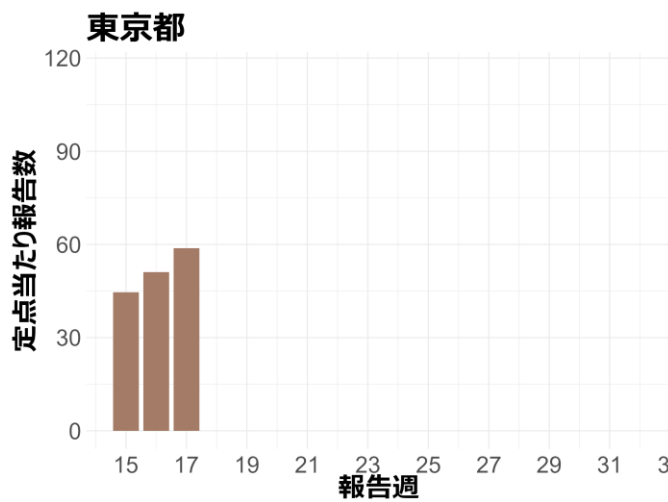


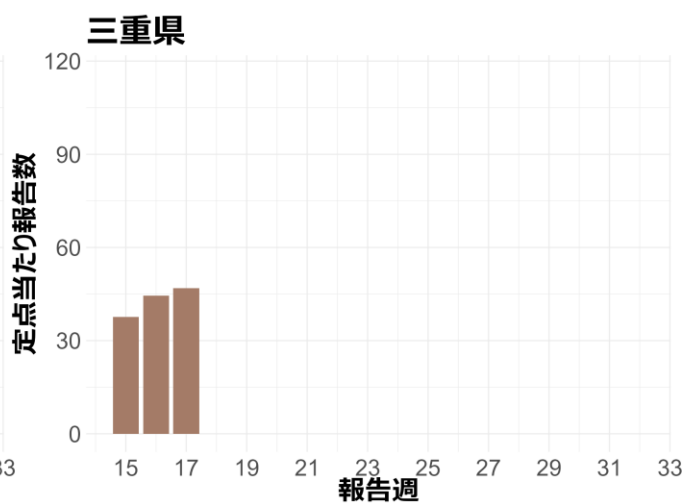
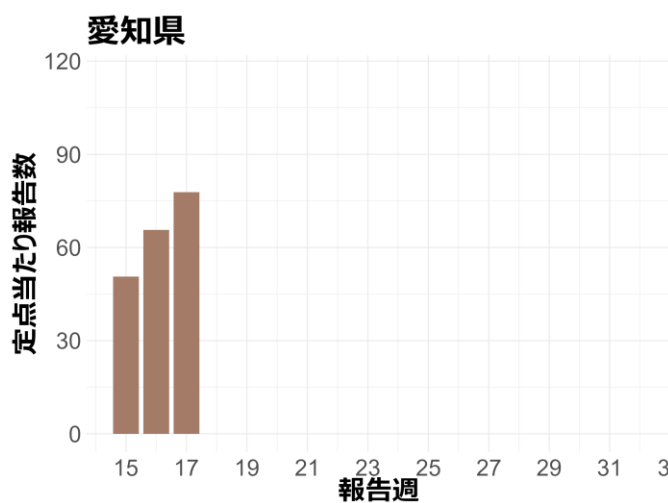
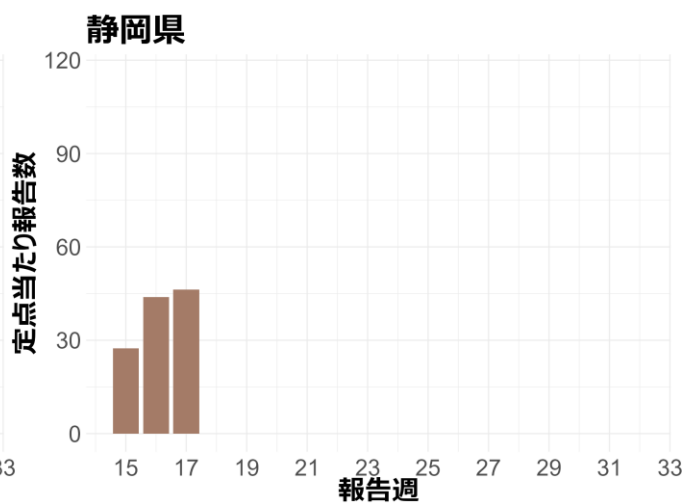
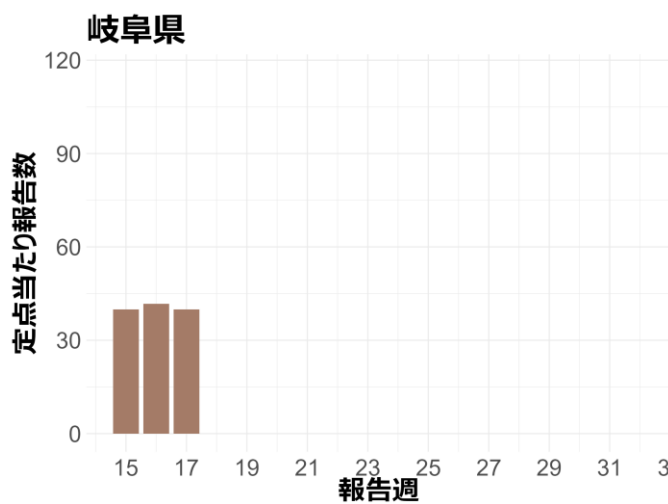
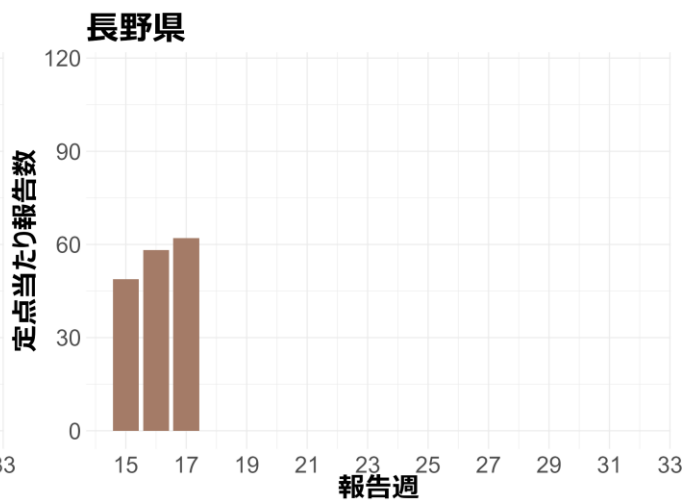
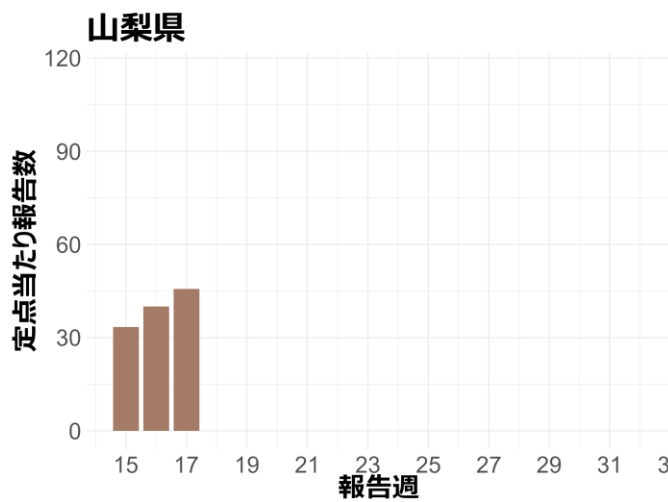
出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月21日~2025年4月27日)

図 4: 週ごとの都道府県別 ARI の定点当たり報告数

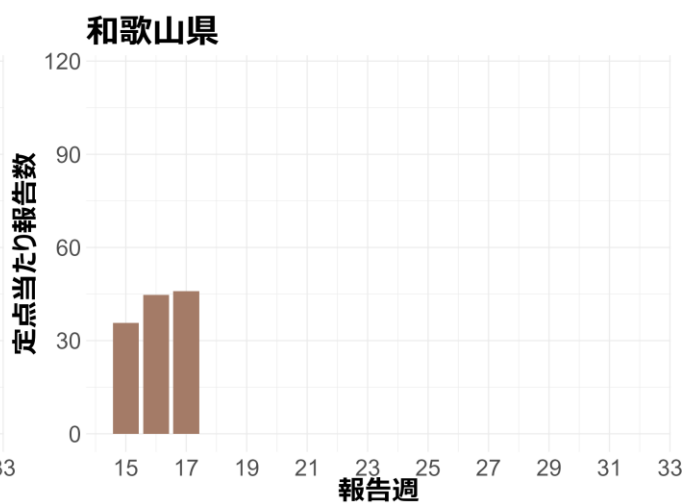
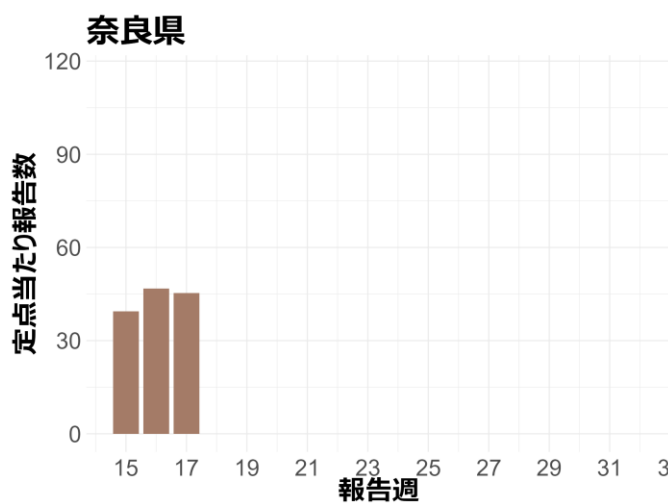
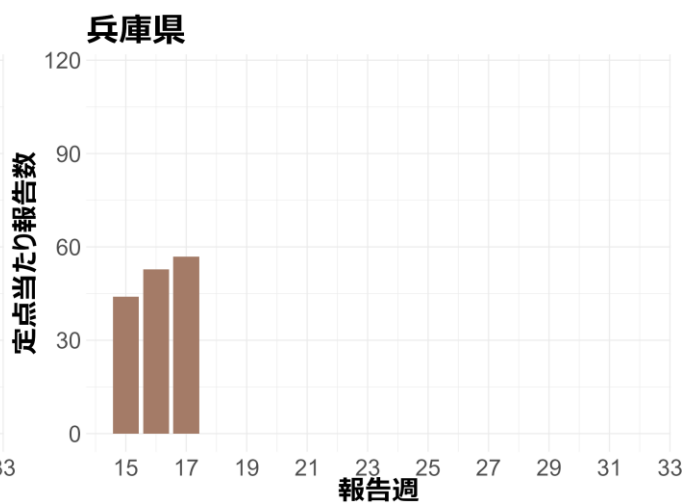
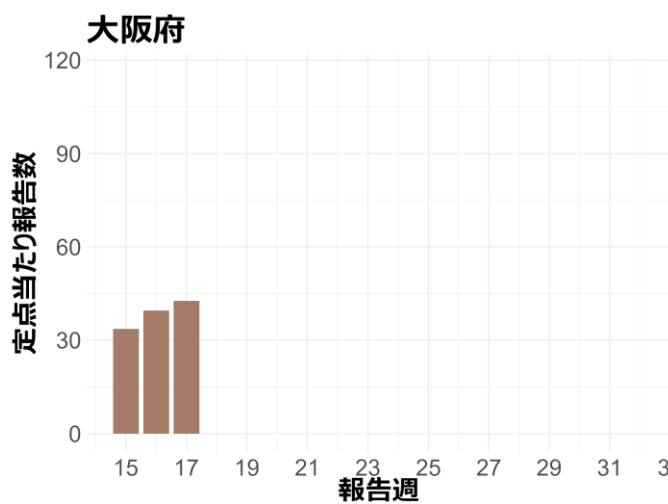
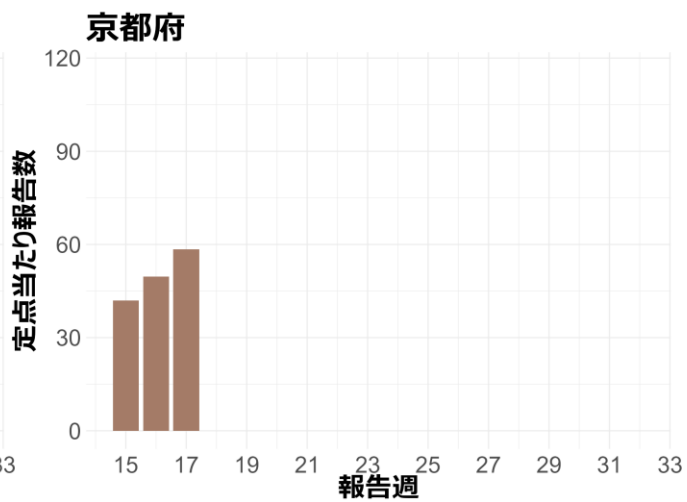
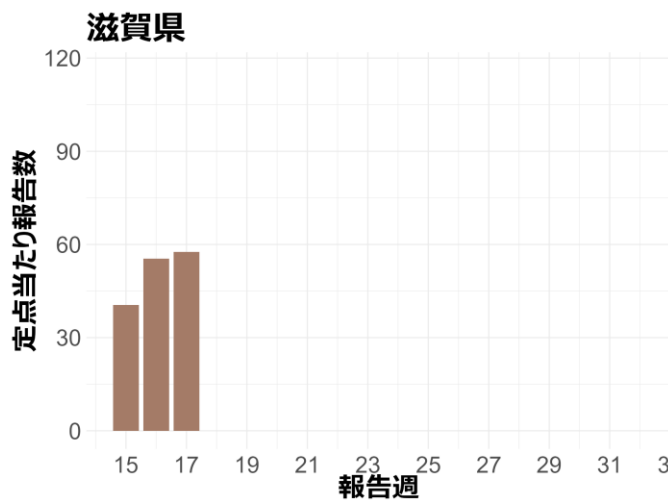


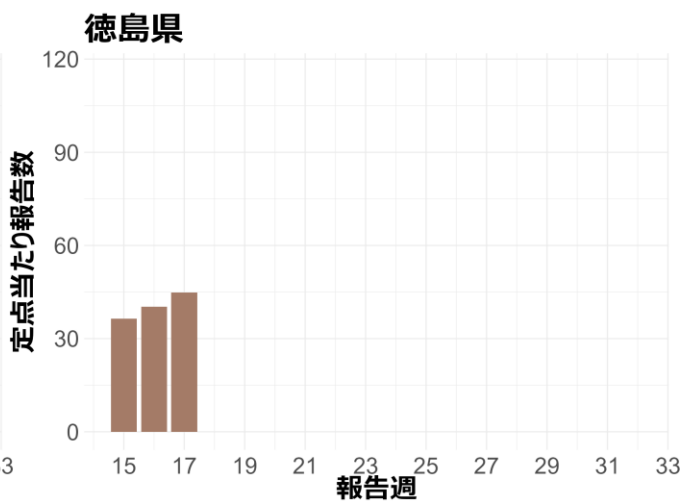
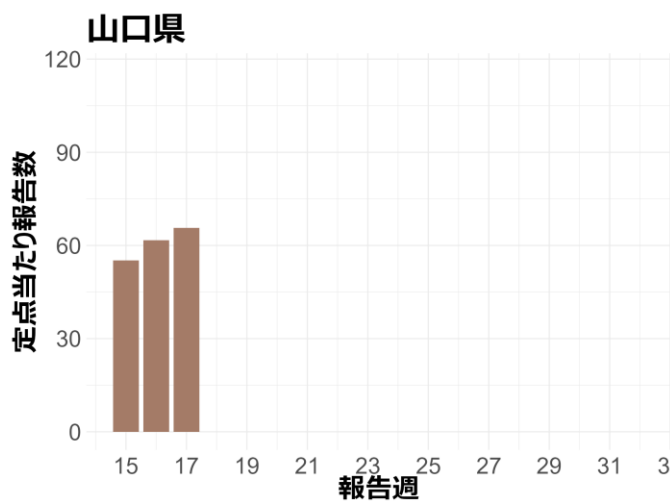
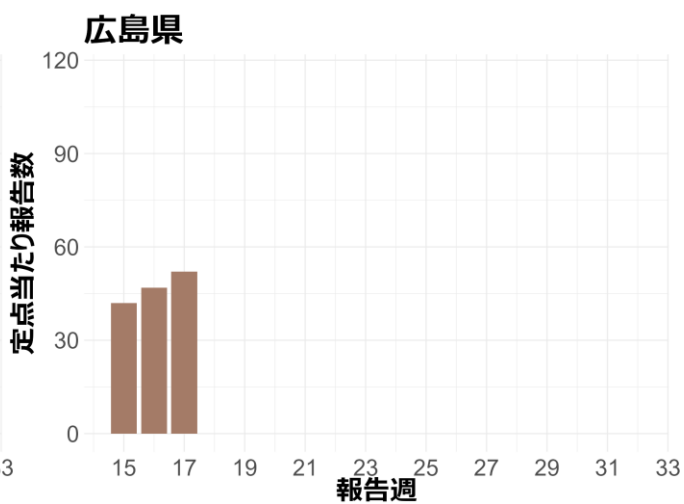
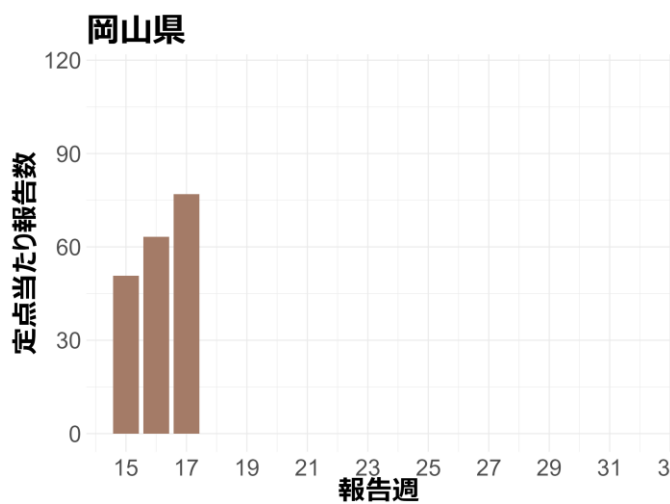
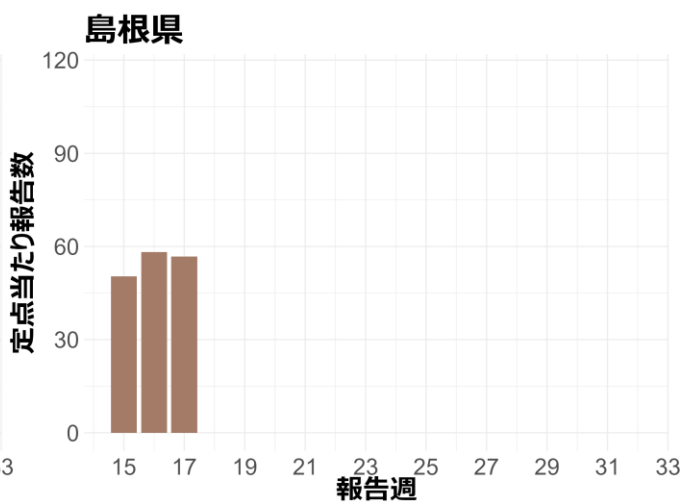
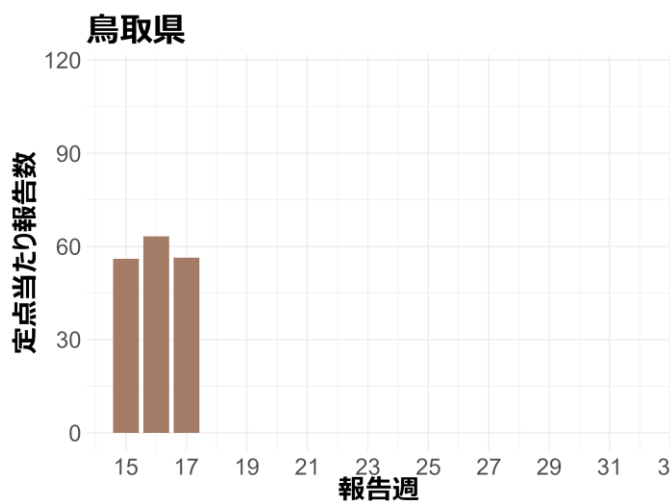


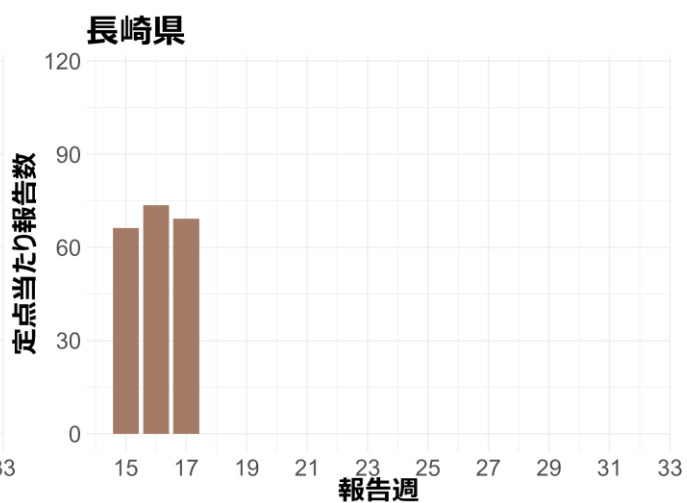
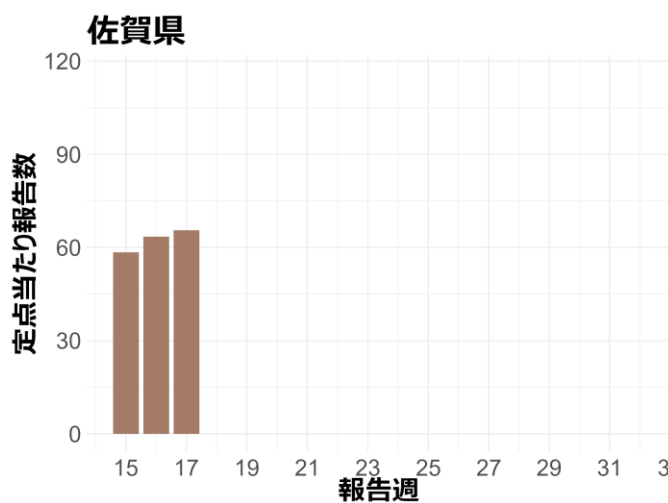
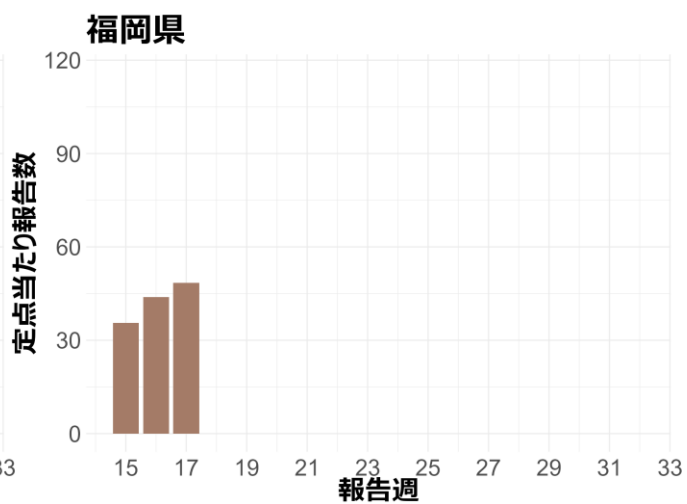
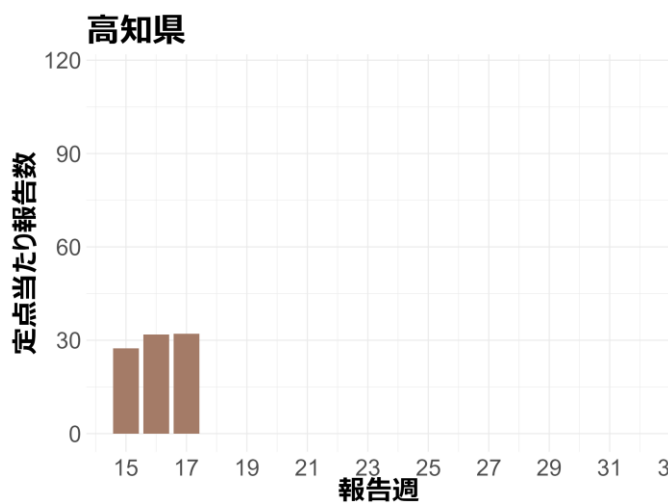
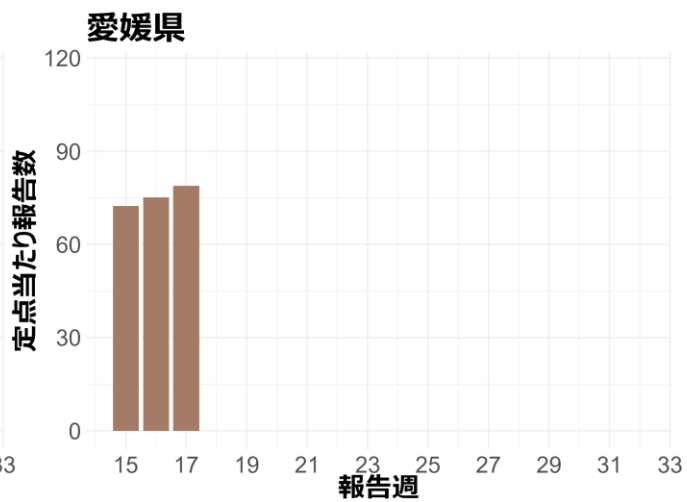
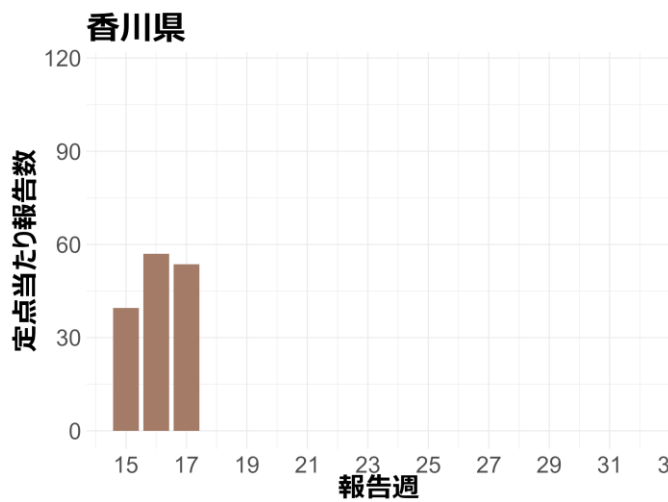


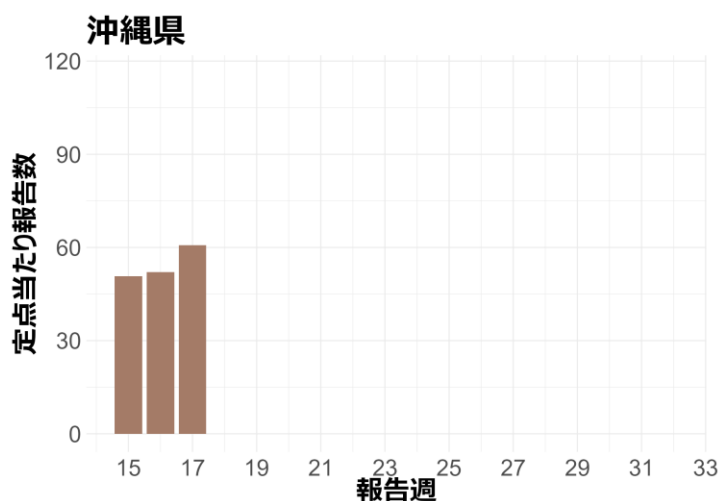
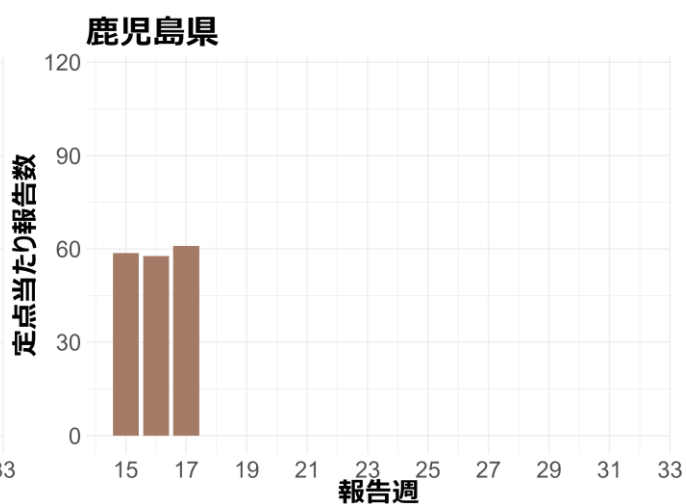
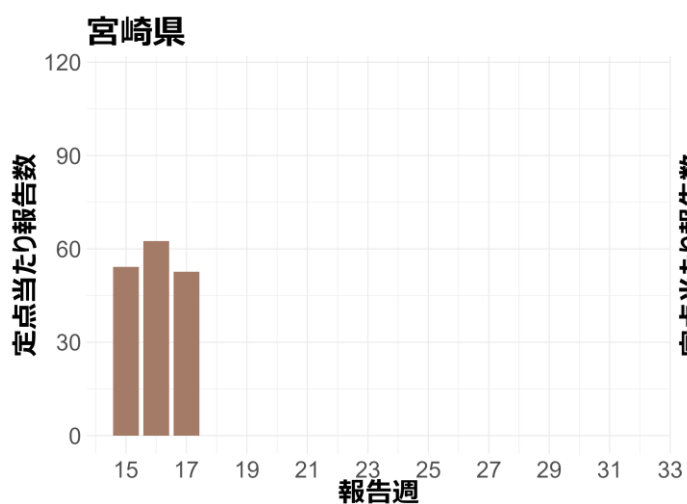
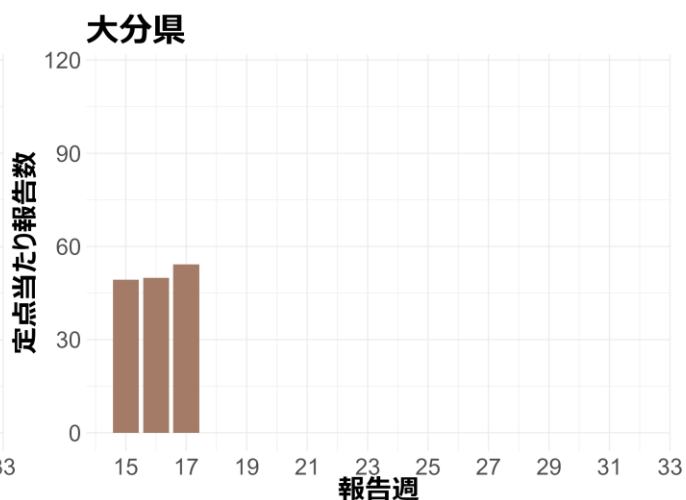
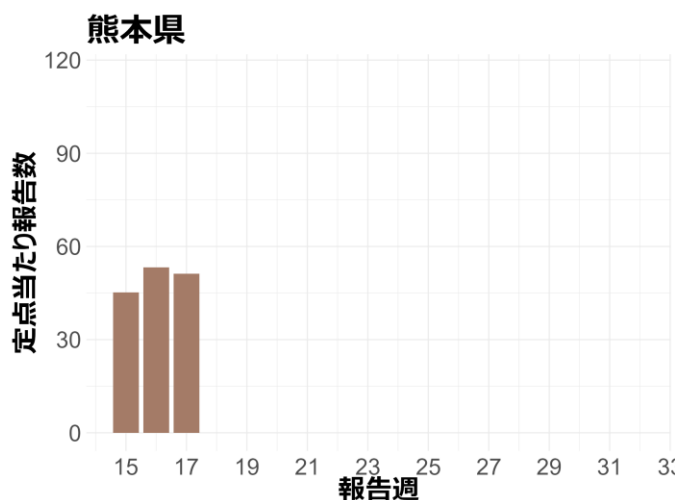












出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年4月27日)

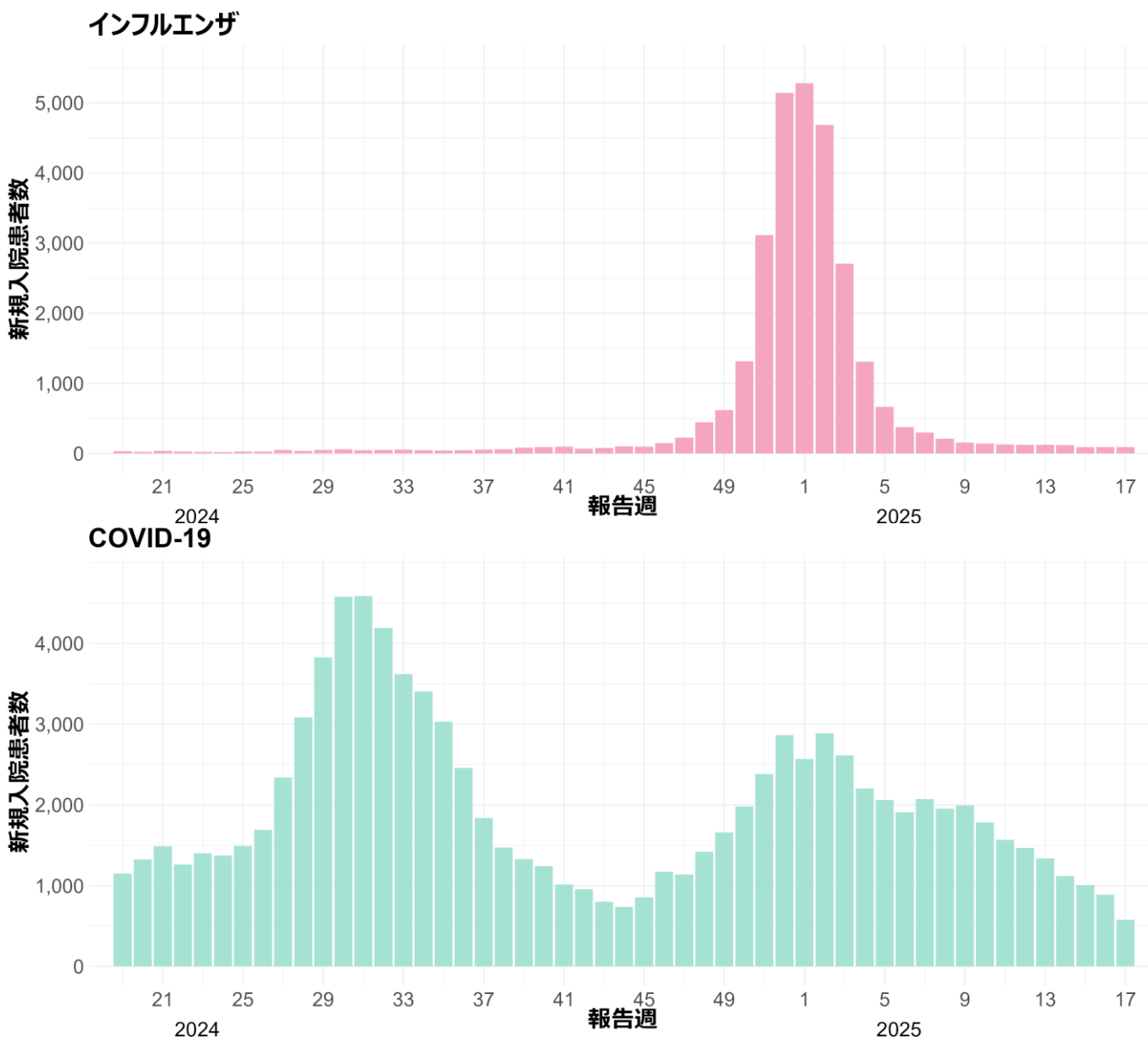
注) 報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

#### 1.4. 全国のインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数

2025 年第 17 週に基幹定点から報告された、新規入院患者数の推移を図 5 に、年齢群別報告数を表 4 に示す。インフルエンザは 89 例で前週と比較して 4 例減少した。COVID-19 は 578 例で前週と比較して 310 例減少した。

年齢群別で見ると、インフルエンザでは 0-9 歳で 32 例、10-59 歳で 16 例、60 歳以上で 41 例であった。COVID-19 では 0-9 歳で 43 例、10-59 歳で 64 例、60 歳以上で 471 例であった。前週と比べてインフルエンザは 0-9 歳では増加、10-59 歳では減少、60 歳以上では減少した。COVID-19 は 0-9 歳では減少、10-59 歳では横ばい、60 歳以上では減少した。

図 5: 基幹定点医療機関から報告されたインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数



出典: 感染症発生動向調査(2025 年 4 月 30 日時点, データ範囲: 2024 年 4 月 29 日~2025 年 4 月 27 日)

表 4: 当該週における基幹定点医療機関から報告された新規入院患者数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	32 (1.28)	43 (0.90)
10-59 歳	16 (0.89)	64 (0.98)
60 歳以上	41 (0.82)	471 (0.61)
計	89 (0.96)	578 (0.65)

出典: 感染症発生動向調査(2025 年 4 月 30 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 21 日~2025 年 4 月 27 日)

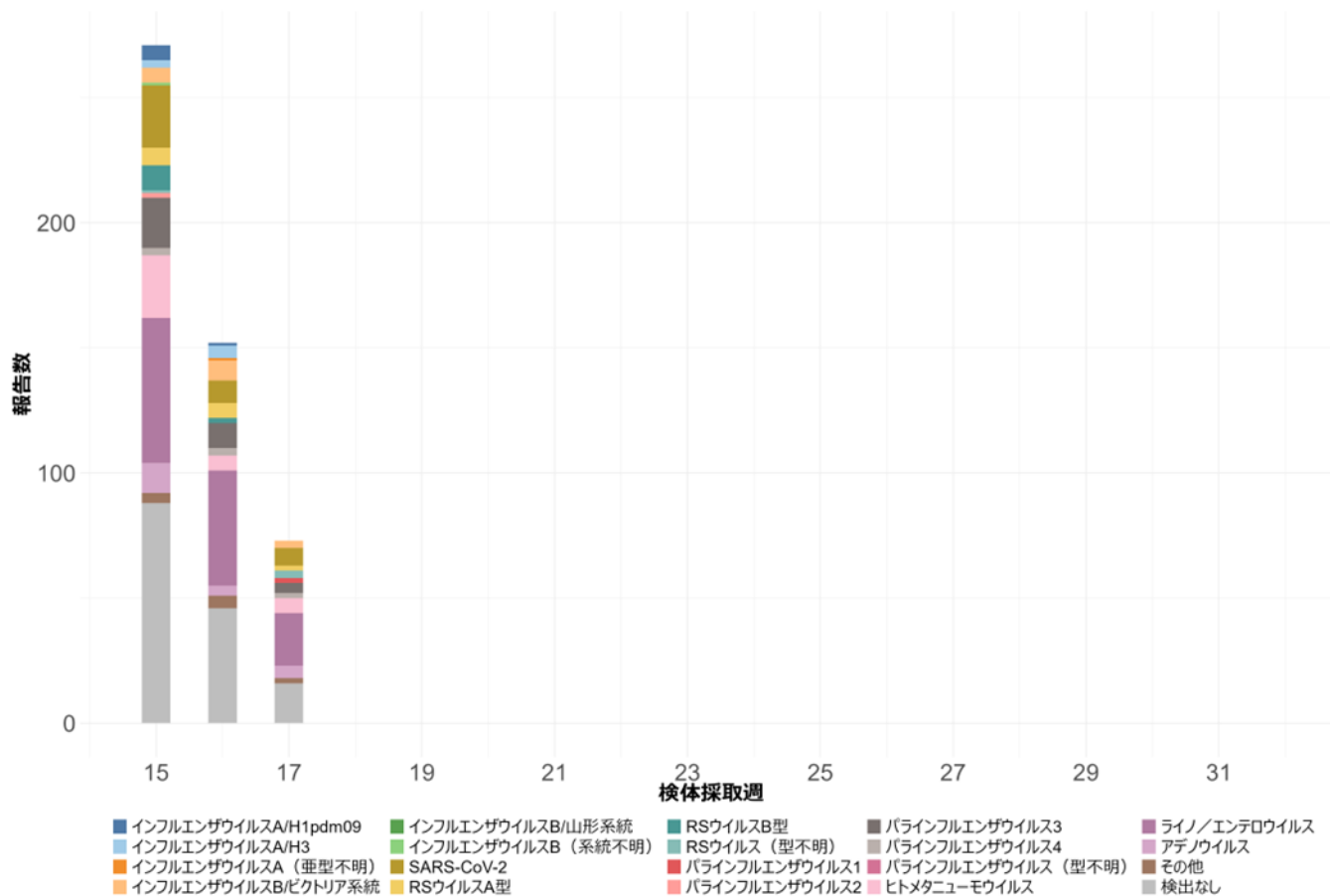
注)カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週の IDWR で還元したデータを用いた。  
注)前週の報告数が 0 であった場合は、前週比の欄に「—」と表記。

## 2. 病原体サーベイランスの状況

### 2.1. 全国の病原体別報告数

急性呼吸器感染症病原体定点(以下、ARI 病原体定点)で 2025 年第 17 週に採取され、集計時点までに報告された検体数は 61 件であった。そのうち陽性数はインフルエンザウイルス A 型が 0 件、インフルエンザウイルス B 型が 3 件、SARS-CoV-2 が 7 件、RS ウイルスが 5 件であった(図 6)。  
病原体別の陽性率は、インフルエンザウイルス A 型が 0%、インフルエンザウイルス B 型が 4.9%、SARS-CoV-2 が 11.5%、RS ウイルスが 8.2%であった(図 7)。  
地域別での陽性数は図 8 に示す。

図 6: 検体採取週ごとの病原体別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年4月27日)

注) 報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。

注) 集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

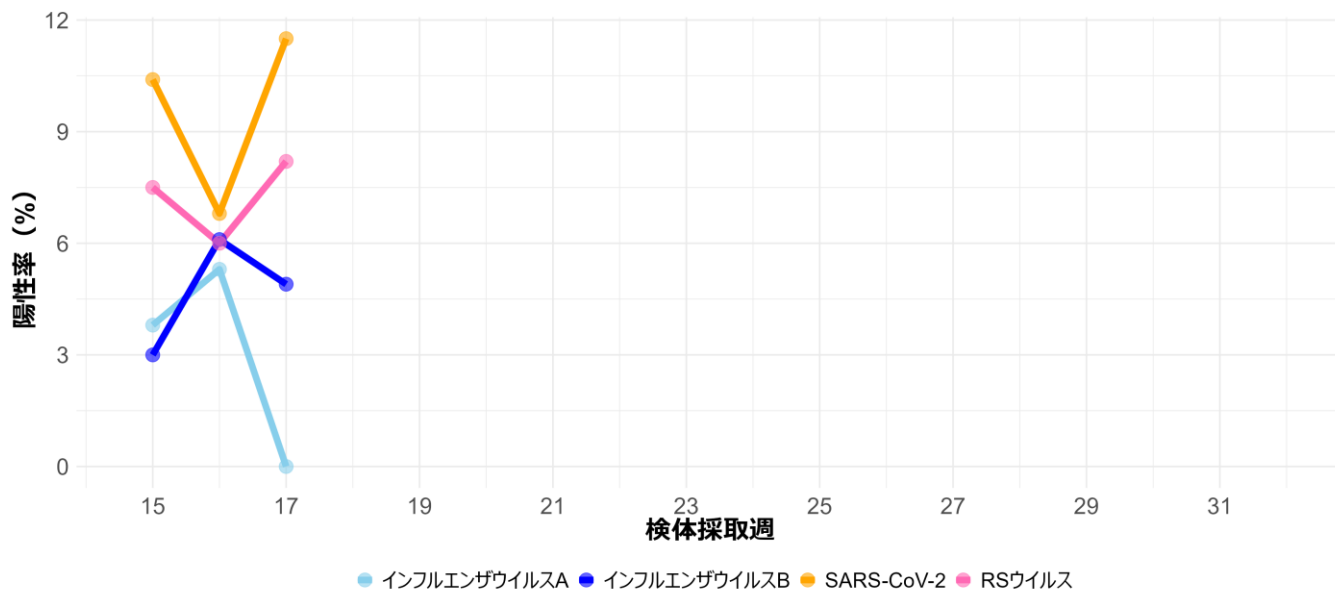
注) 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上している。

注) ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。

注) その他は、凡例に示されている病原体以外が検出されたものである。

注) 検査結果が検出なし、また検査結果の掲載がない週及び地域については、病原体が検出されなかった場合もあるが、検査項目によっては未実施の場合も含まれることに注意が必要である。

図 7: 検体採取週ごとの病原体別陽性率



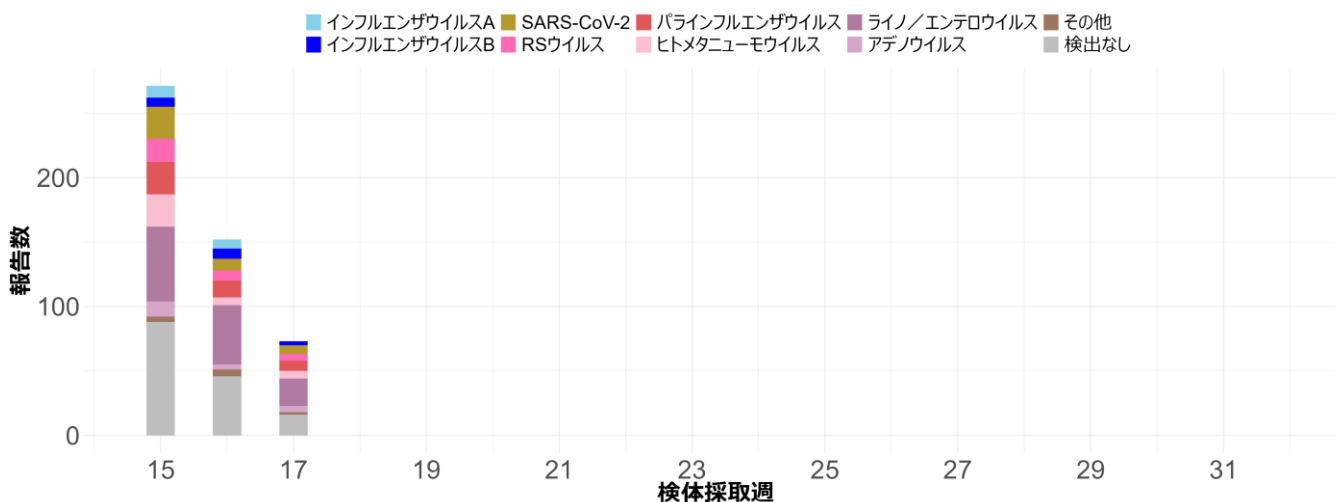
出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年4月27日)

注)陽性率は、対象病原体の検査実施検体数を分母として算出((陽性数/検査実施数)×100)される。

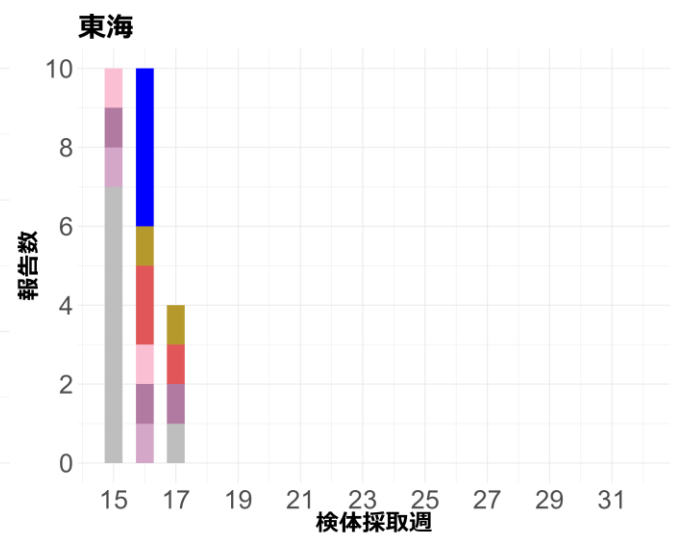
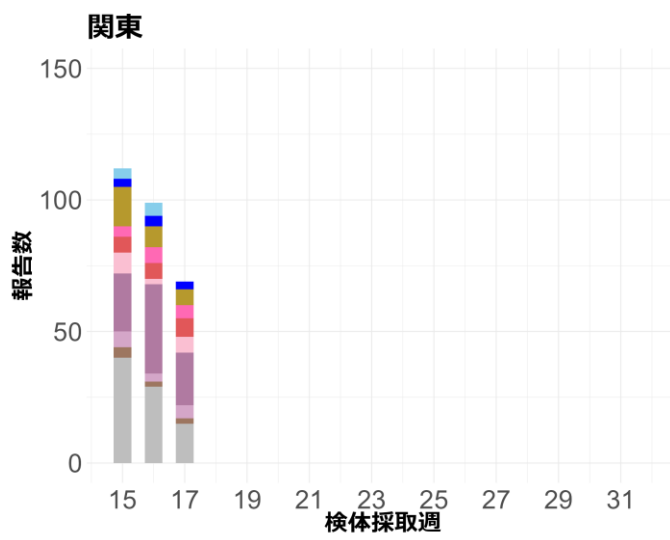
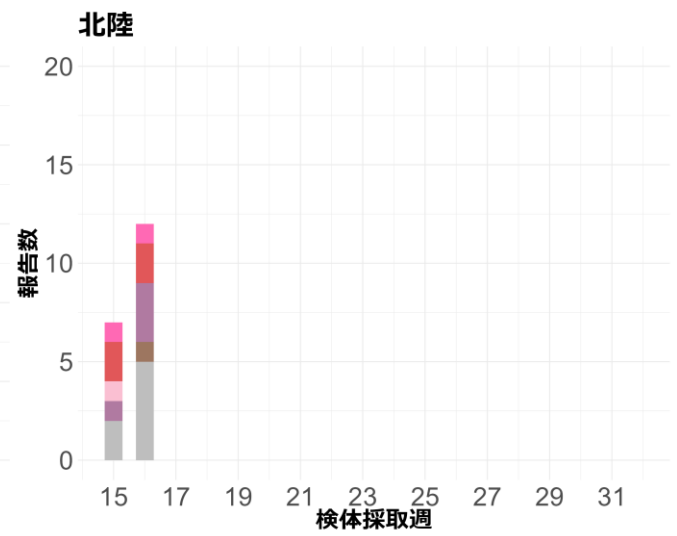
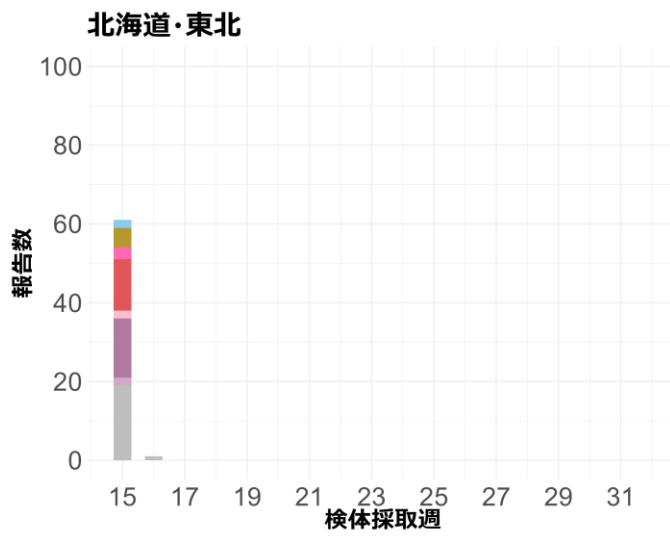
注)報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。

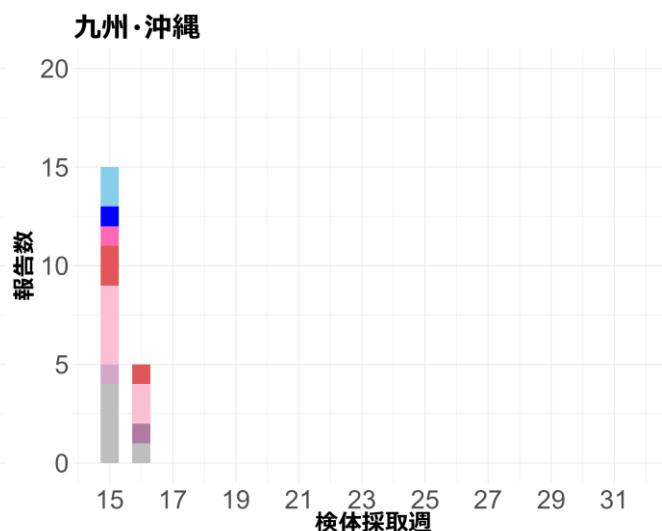
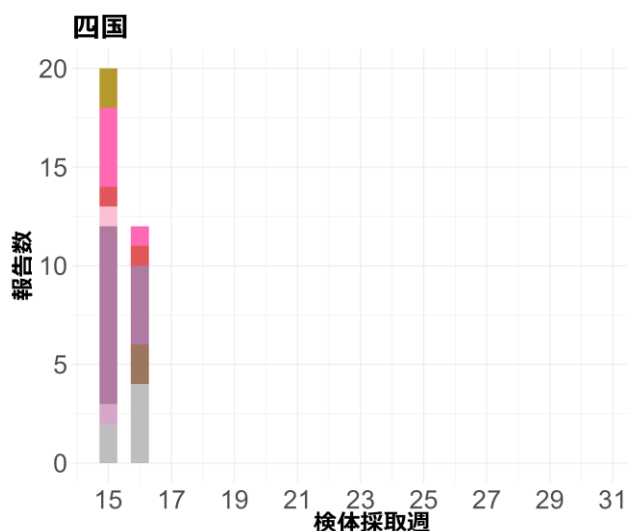
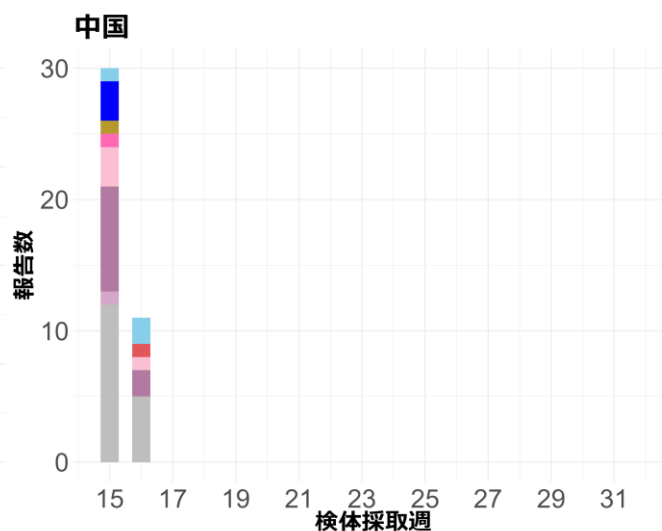
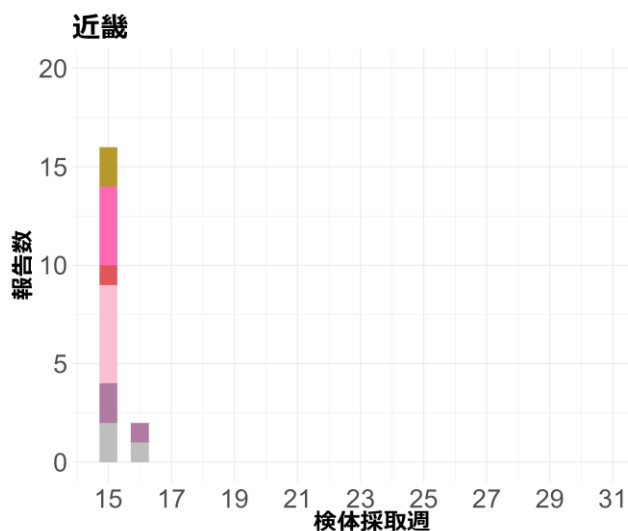
注)集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

図 8: 検体採取週ごとの全国および地域別、病原体別報告数  
全国









出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年4月27日)

注) 報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。

注) 集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

注) 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上している。

注) ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。

注) その他は、凡例に示されている病原体以外が検出されたものである。

注) 検査結果が検出なし、また検査結果の掲載がない週及び地域については、病原体が検出されなかった場合もあるが、検査項目によっては未実施の場合も含まれることに注意が必要である。

## 2.2. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス

※今週の掲載はありません。

## 注意事項

本報では、急性呼吸器感染症定点および小児科定点としてあらかじめ指定された医療機関から週単位で報告された患者数を全国および都道府県ごとに集計した数値を用いている。都道府県別あるいは性別・年齢階級別報告数の詳細については感染症発生動向調査週報(IDWR)を参照されたい。なお、本報およびIDWRに掲載されている数値は暫定値であるため、年報での数値とは必ずしも一致しない。

患者サーベイランスの集計には感染症発生動向調査に報告されたデータのうち直近1週間は集計日時点のデータを、それ以前は最初の集計時点のデータを再掲している。遅れて報告されたり、修正されたりする可能性があるため、集計値は暫定値であることに注意が必要である。

病原体サーベイランスの集計では、全ての週に関して集計時点のデータを掲載している。自治体/地方衛生研究所によって集められた検体に対する病原体検査項目が異なることがある。また、自治体/地方衛生研究所によって検査実施および報告に要する日数が異なるため、検体採取週における病原体検出数は遅れて報告される、あるいは修正されることがあり集計値は暫定値であることに注意が必要である。

急性呼吸器感染症定点は、内科定点に比べ小児科定点が多く選択されている。定点から報告されたインフルエンザ、COVID-19症例に占める各年齢群の割合については、小児に偏る可能性がある。一方、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握、年齢群ごとの傾向と水準の評価の観点においては影響を与えない。

年末・年始(第52週～第1週頃)、ゴールデンウィーク(第18週頃)、お盆(第33週頃)、シルバーウィーク(第39週頃)等の週では、報告数が減少する傾向があり解釈には注意が必要である。なお、祝日、休日の並び等によって該当する週は年によって異なる。

従来警報・注意報は保健所ごとの報告数を用いて検討・設計されており、定点数の設計および定点医療機関が変更された2025年4月7日以降の患者サーベイランスに直ちに当てはめることはできない。急性呼吸器感染症定点の運用時でのインフルエンザをはじめとする各感染症の警報・注意報といったアラートについてはデータの蓄積の上で検討を進める。なお、このような限界を理解したうえで従前の警報・注意報をコミュニケーションとして使用することを妨げるものではない。

## 地域の定義

北海道・東北地方: 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県

東海地方: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 参考サイト

●感染症発生動向調査週報(IDWR)ページ

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

●病原微生物検出情報(IASR)ページ

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

●国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症情報提供サイト

<https://id-info.jihs.go.jp/>

・インフルエンザ

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/influenza/010/influ-top.html>

・ヒトに感染するコロナウイルス(新型コロナウイルス感染症)

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/coronavirus/010/coronavirus.html>

・RS ウイルス感染症

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>

・咽頭結膜熱

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/adeno/010/pcf-intro.html>

・ヘルパンギーナ

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/herpangina/010/herpangina.html>

●厚生労働省 感染症情報

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html)

・急性呼吸器感染症(ARI)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html>

・急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスに係る具体的な方針について (PDF: 1096KB)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001272561.pdf>

・インフルエンザ(総合ページ)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html)

・新型コロナウイルス感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

・RS ウイルス感染症 Q&A(令和6年5月 31 日改訂)

[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

・咽頭結膜熱

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/pcf.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/pcf.html)

・ヘルパンギーナ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html)

●新型コロナウイルスのゲノムサーベイランス(検疫検体:入国者検疫検体を含む)について

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/45/532/article/030/index.html>

●SARS-CoV-2 変異株について

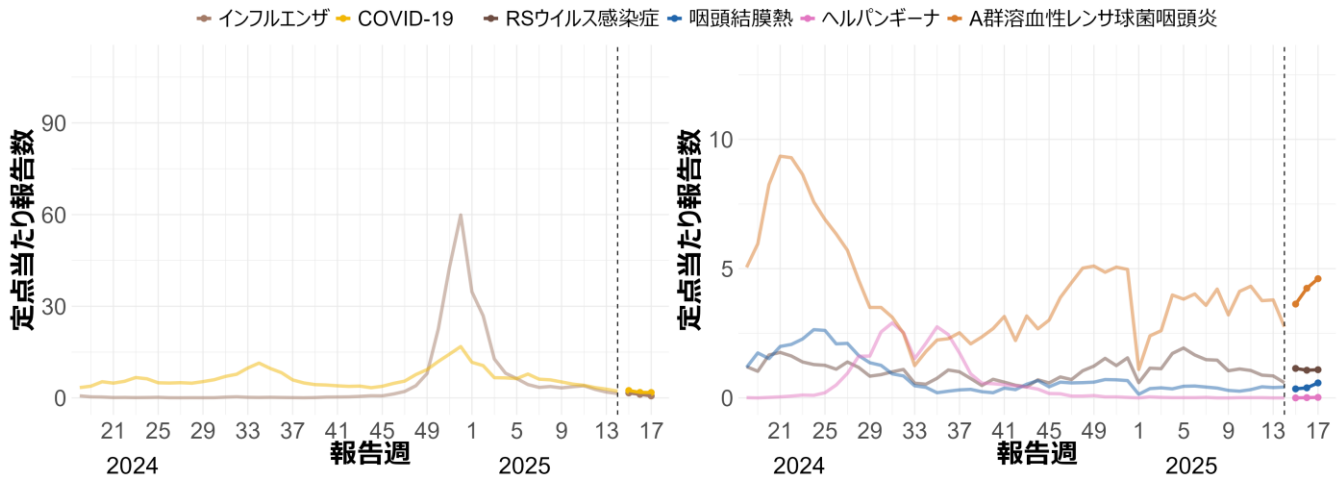
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/covid-19/180/flu2-1-1.html>

●都道府県番号について (PDF: 68KB)

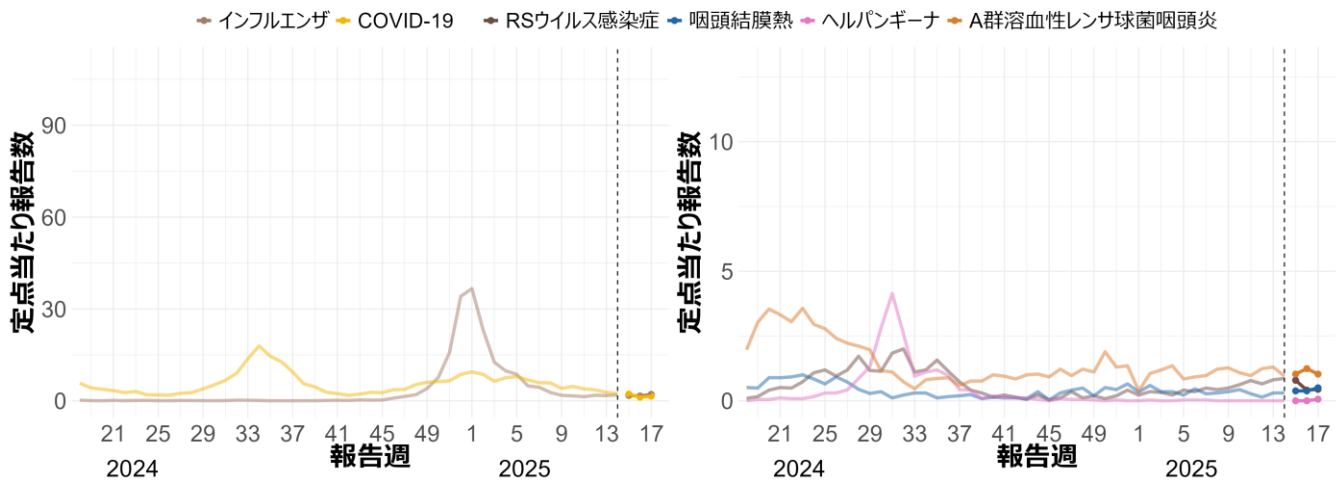
<https://www.mhlw.go.jp/topics/2007/07/dl/tp0727-1d.pdf>

参考: 各感染症の週ごとの都道府県別定点当たり報告数

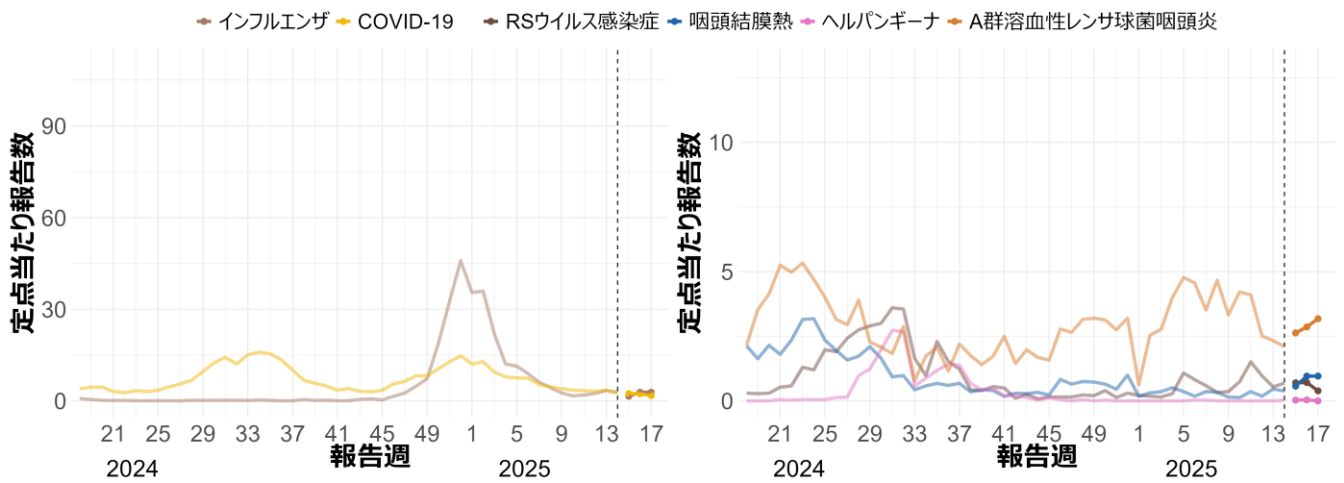
北海道



青森県

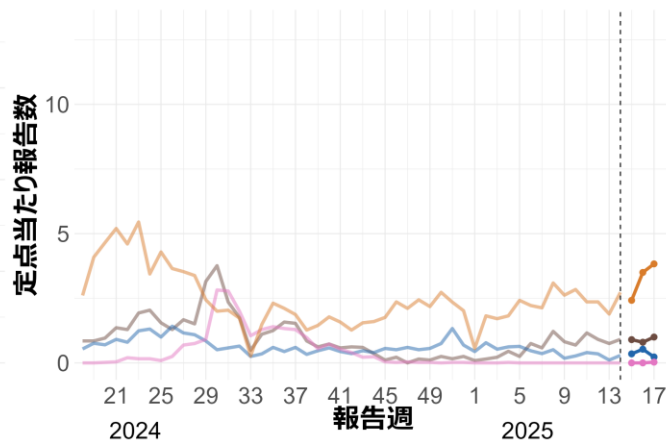


岩手県



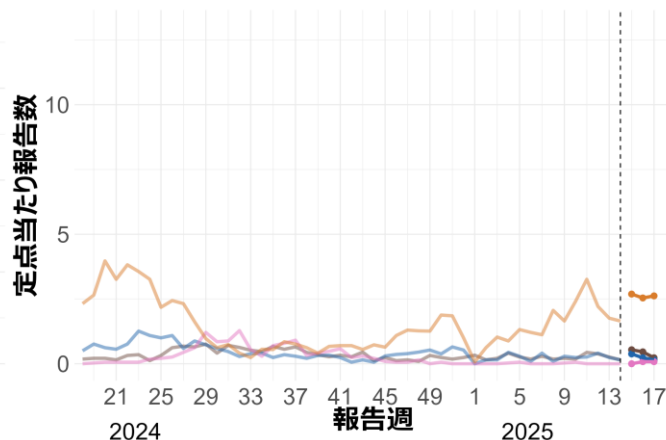
### 宮城県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



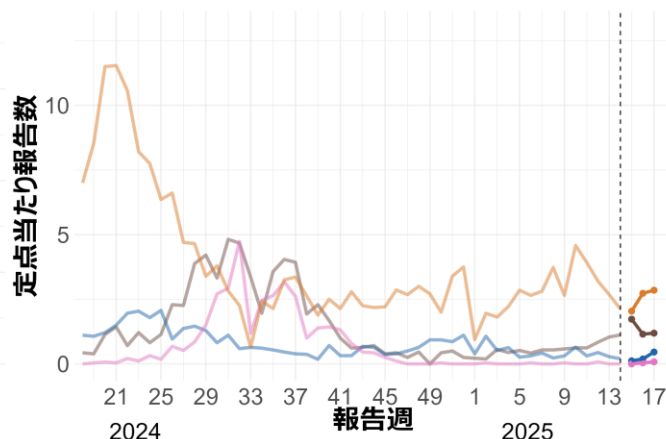
### 秋田県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



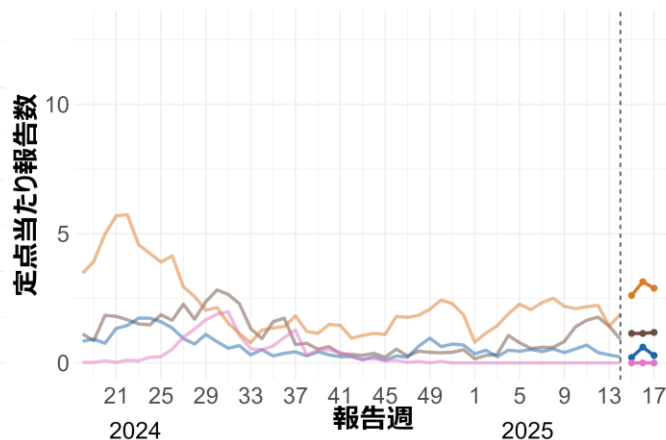
### 山形県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



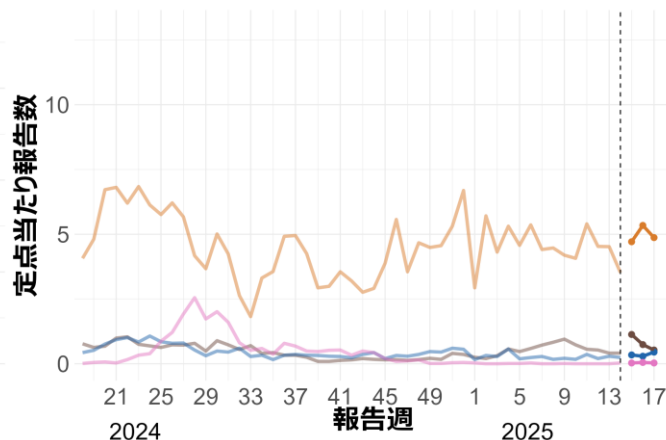
### 福島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



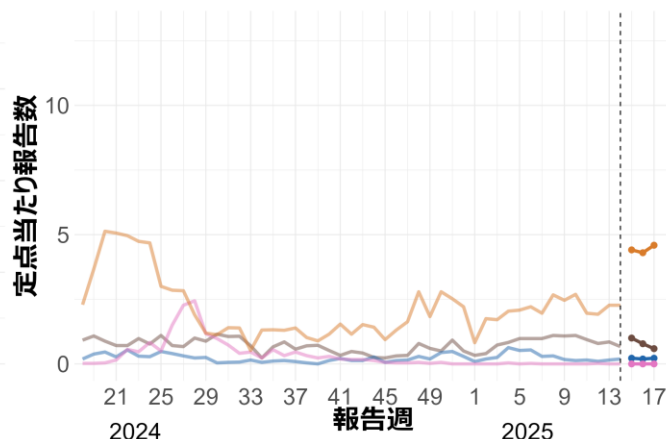
### 茨城県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



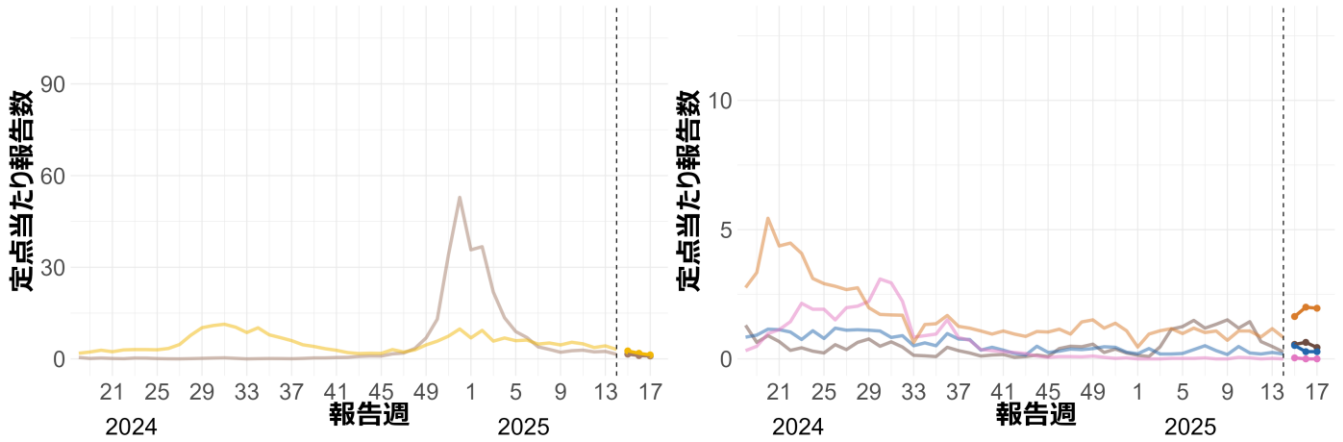
### 栃木県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



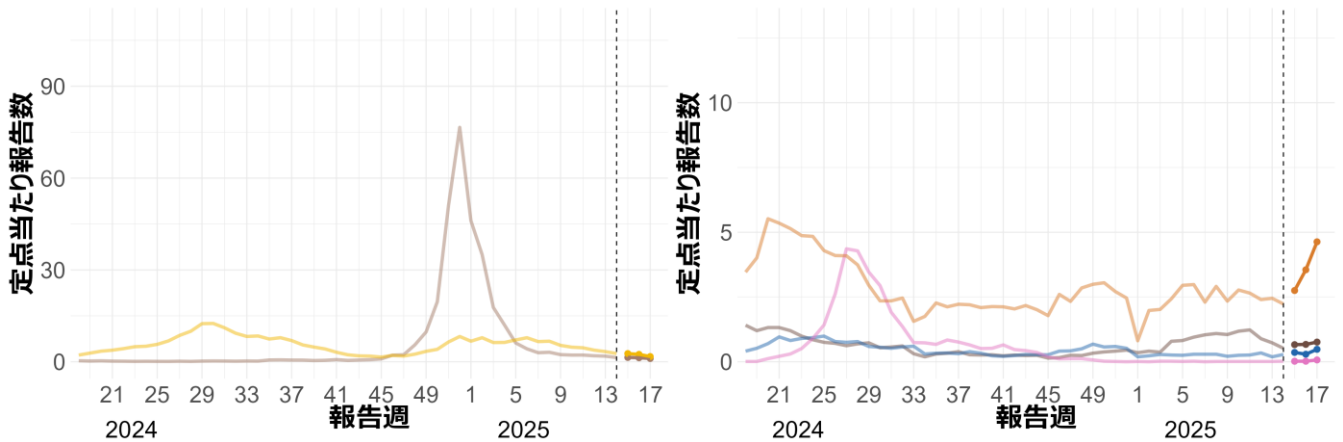
## 群馬県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



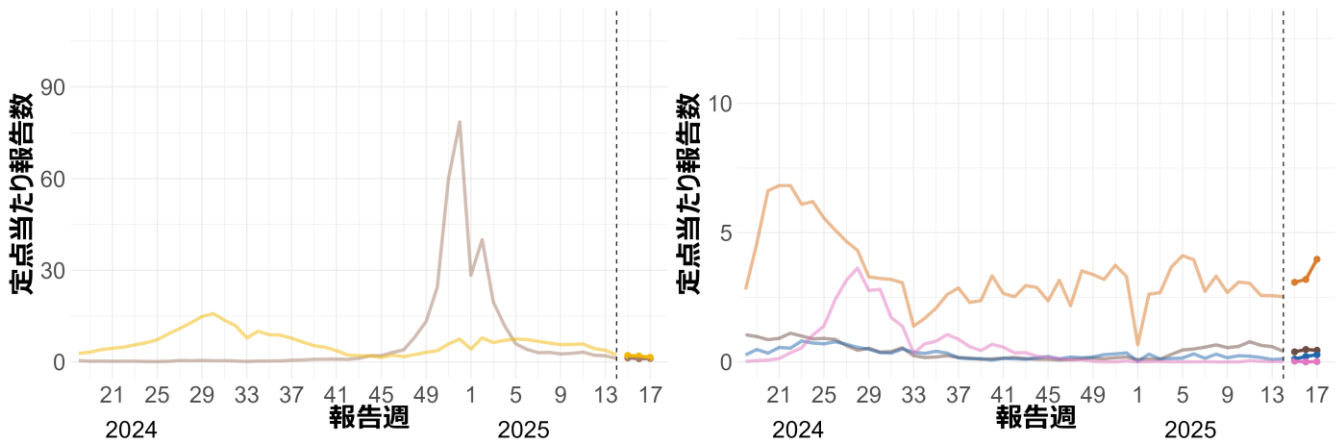
## 埼玉県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 千葉県

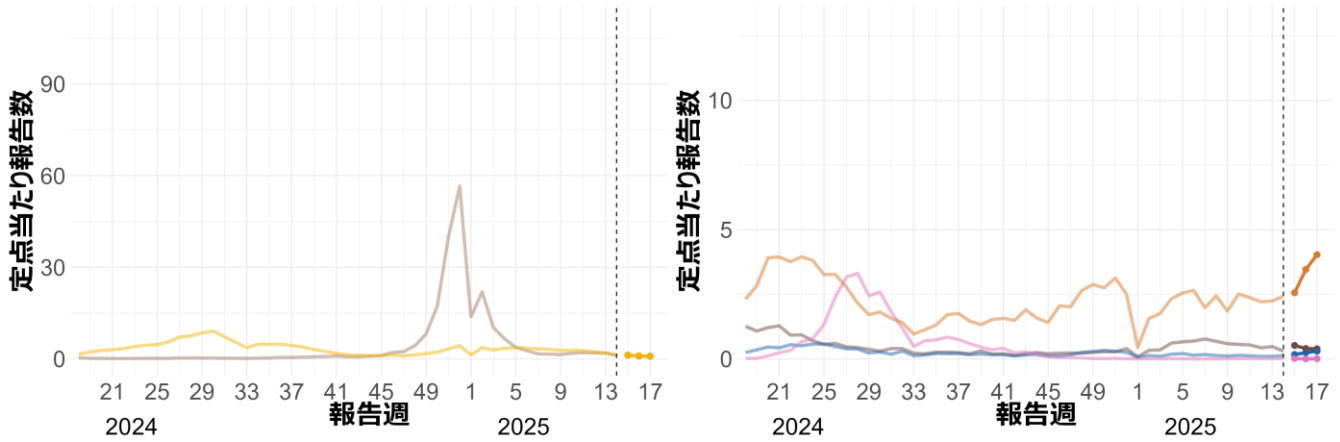
インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎





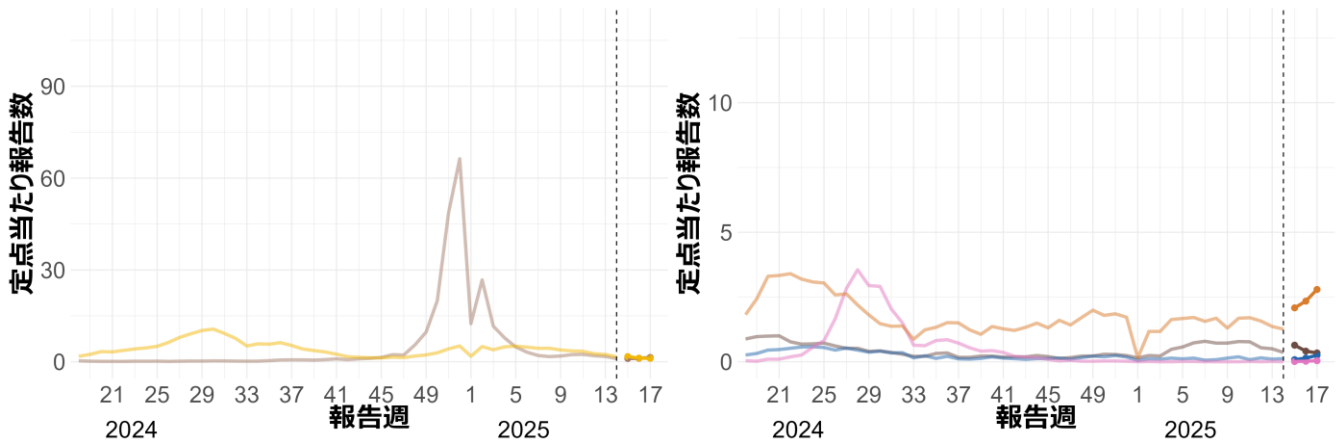
### 東京都

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



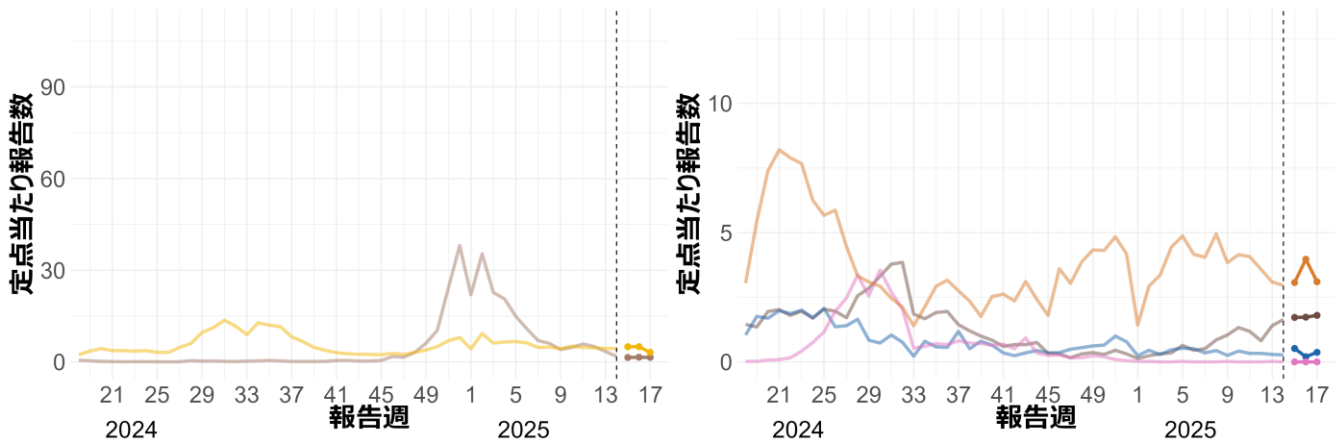
### 神奈川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



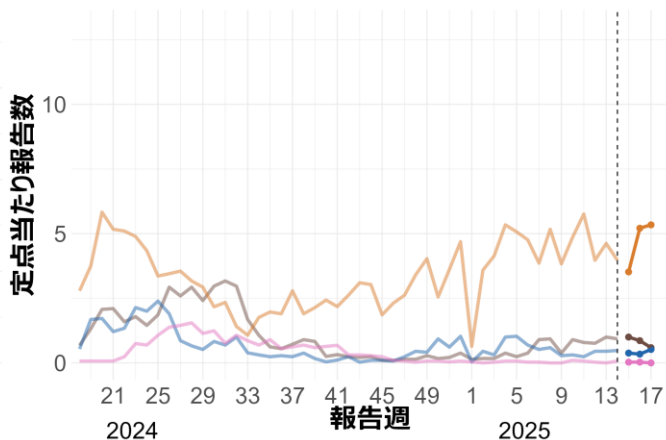
### 新潟県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



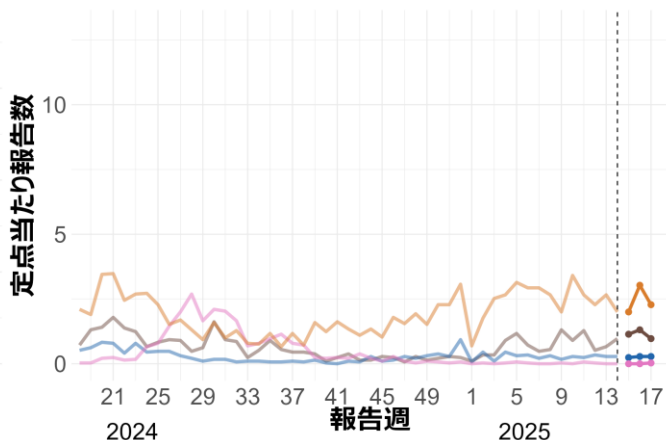
### 富山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



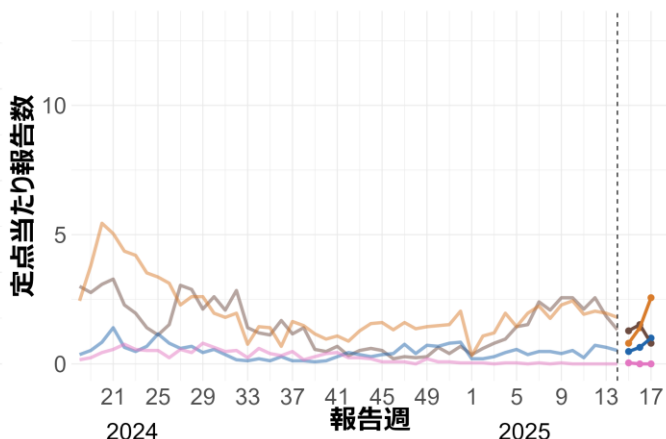
### 石川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



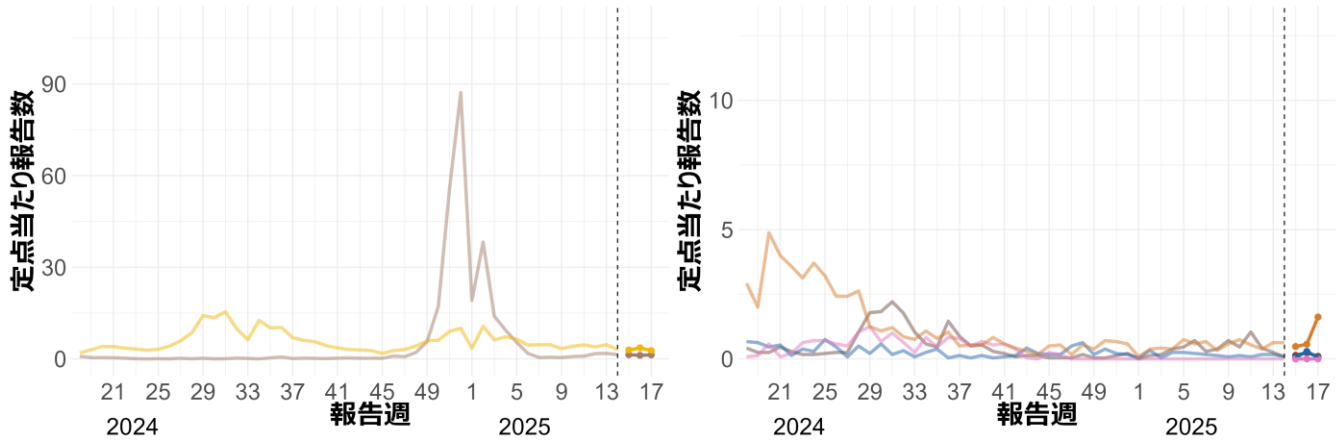
### 福井県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



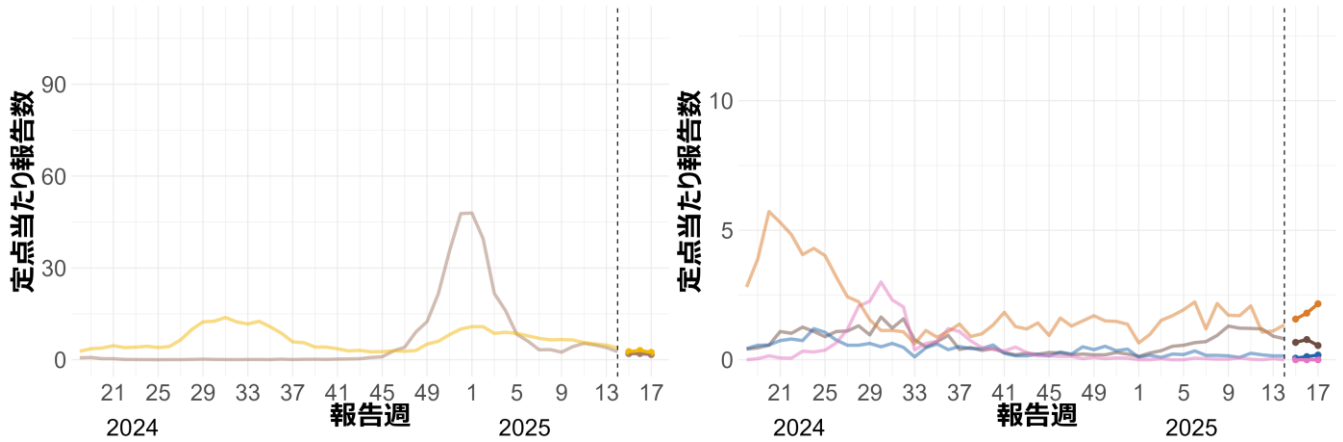
## 山梨県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



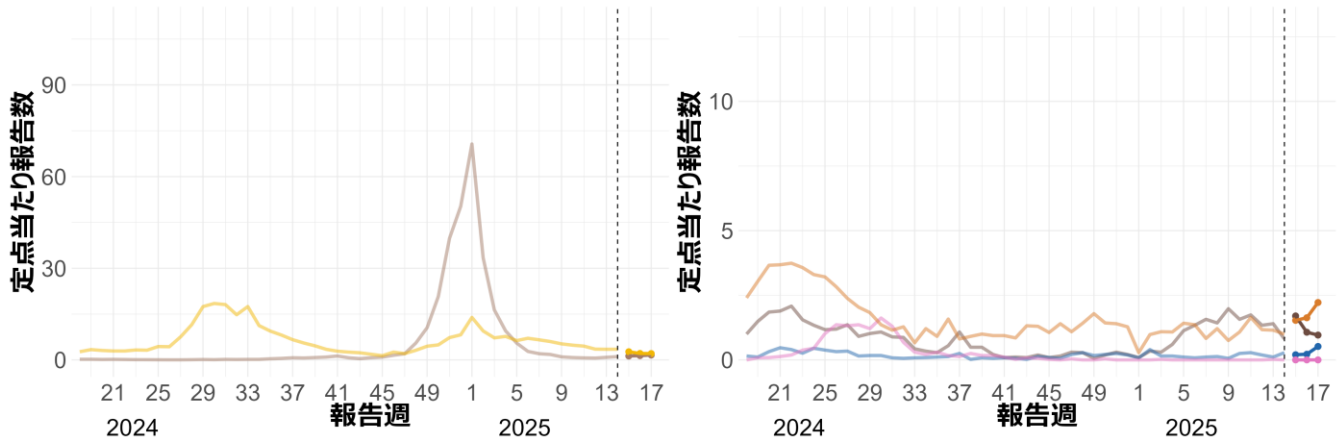
## 長野県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



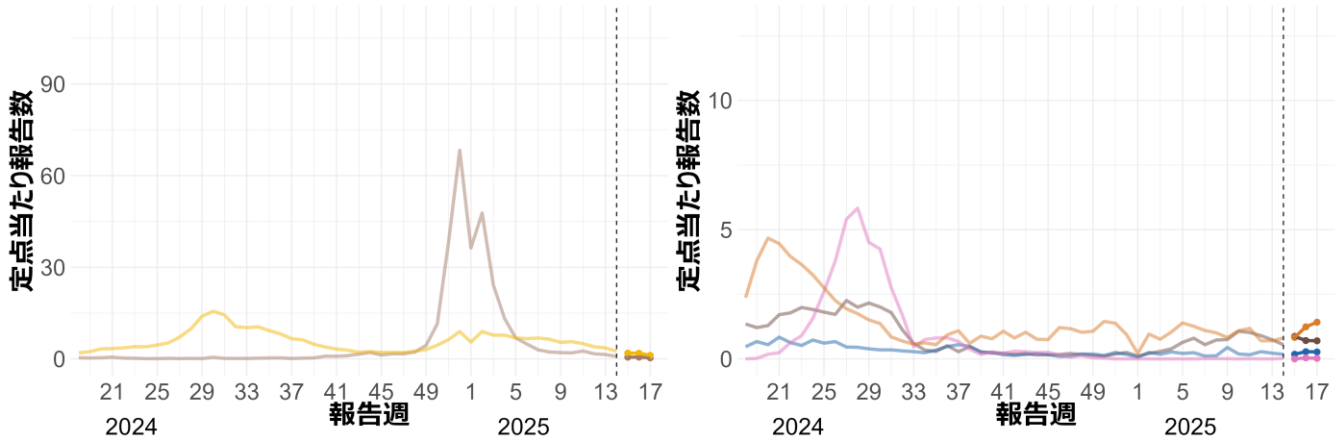
## 岐阜県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



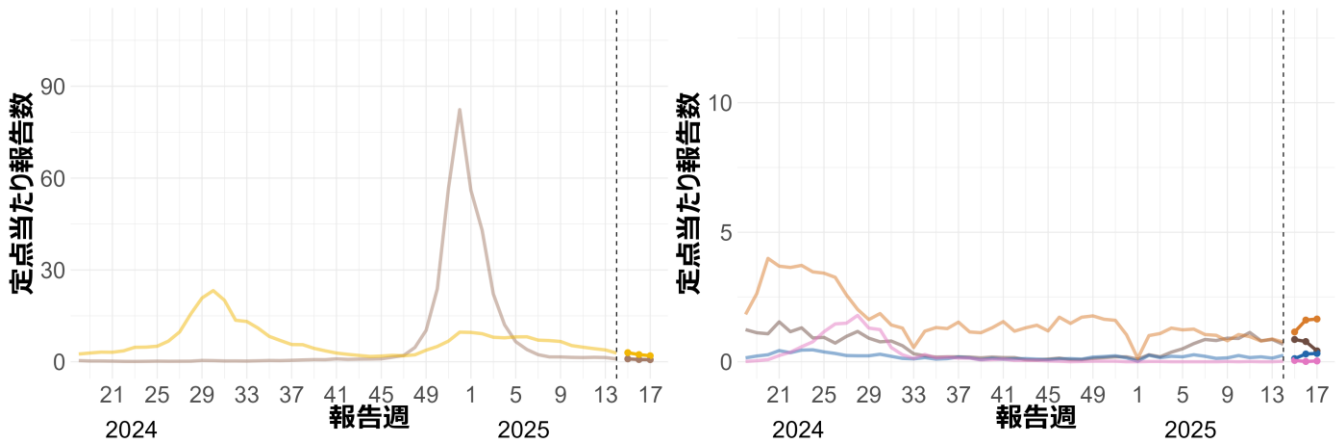
### 静岡県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



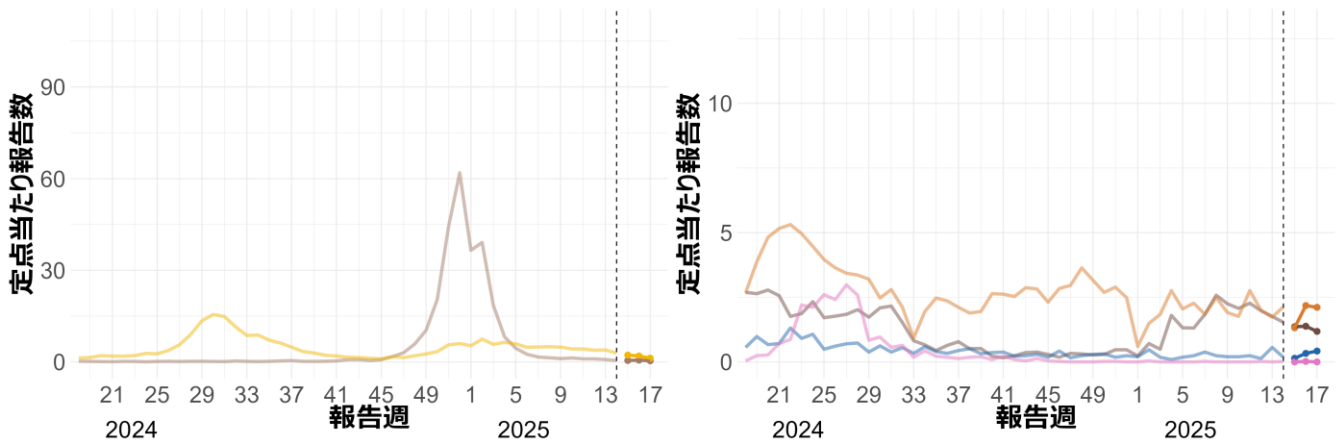
### 愛知県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



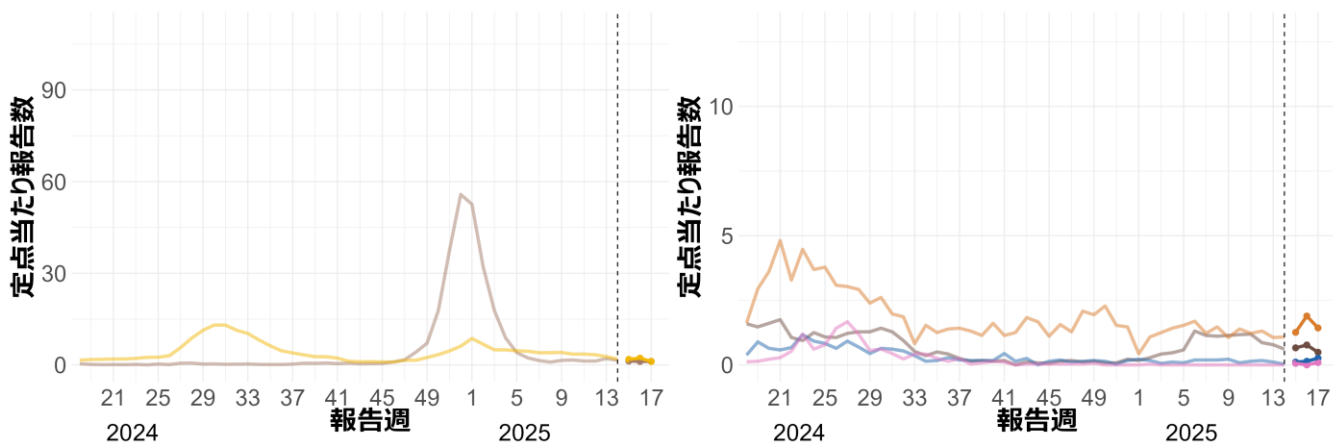
### 三重県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



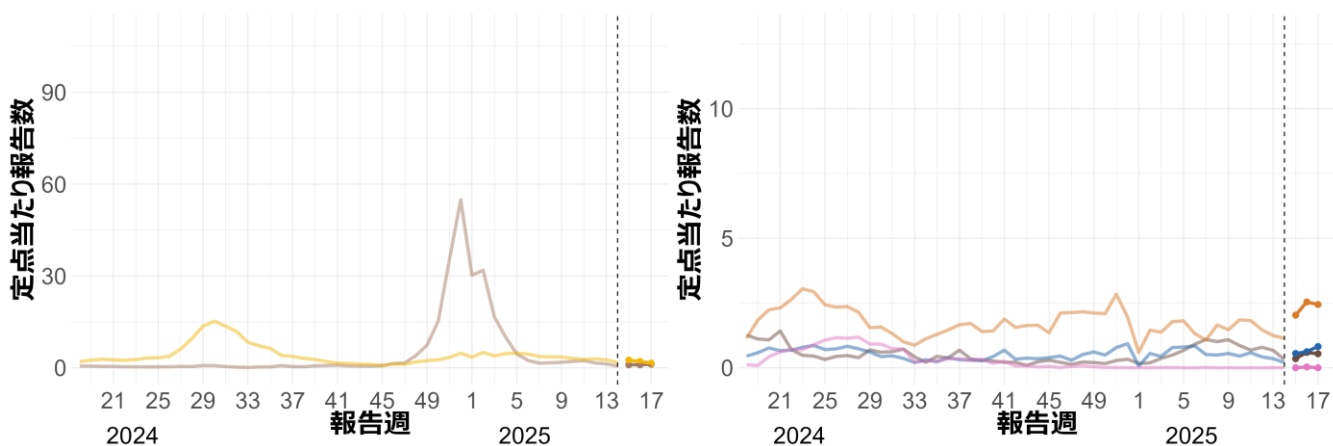
### 滋賀県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



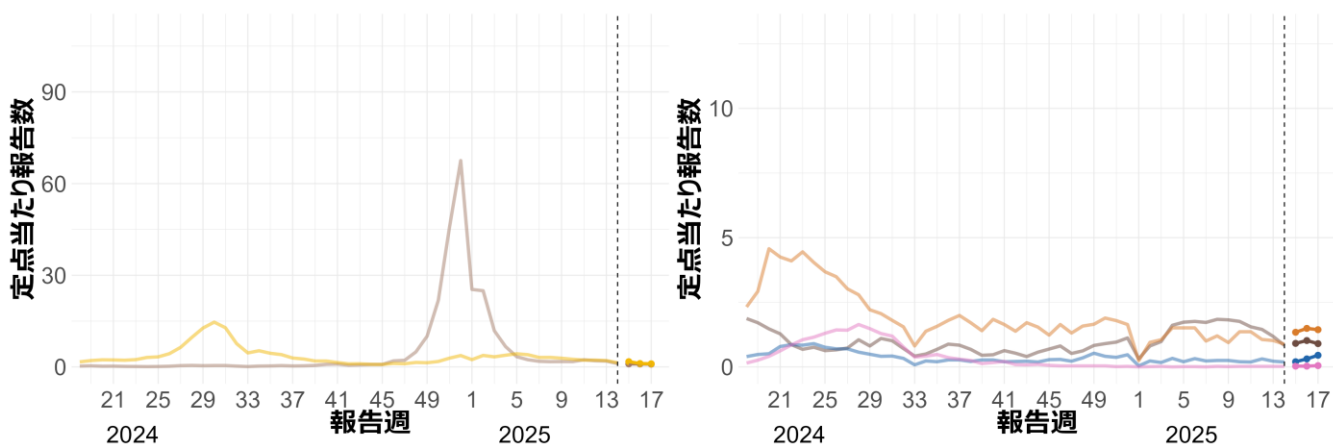
### 京都府

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



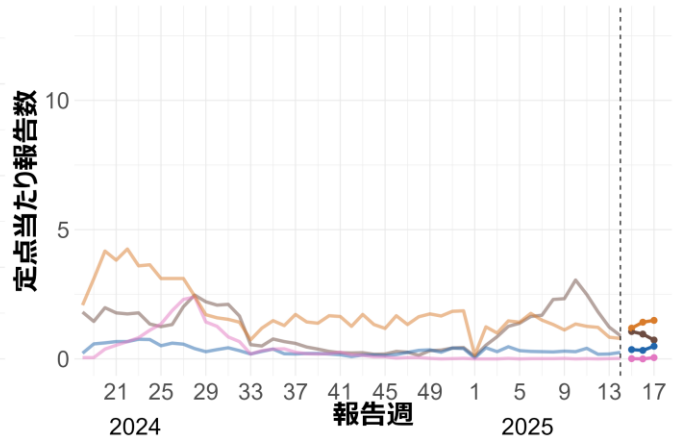
### 大阪府

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



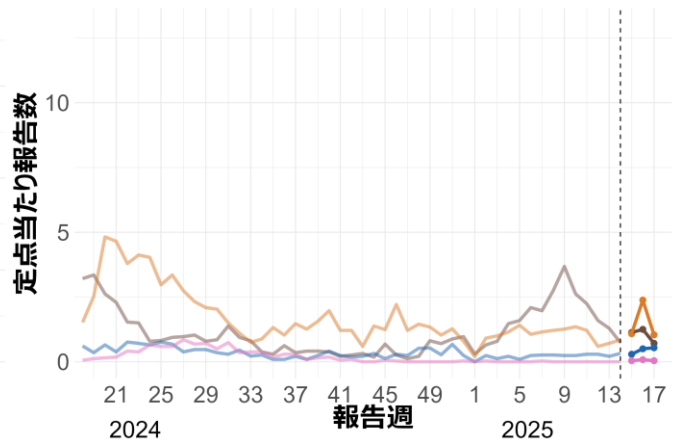
### 兵庫県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



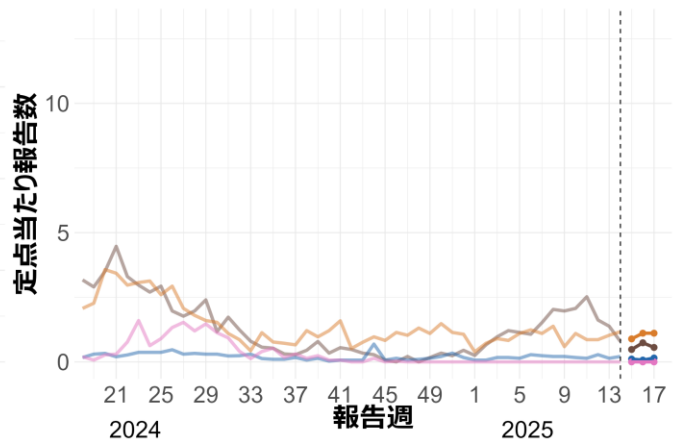
### 奈良県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



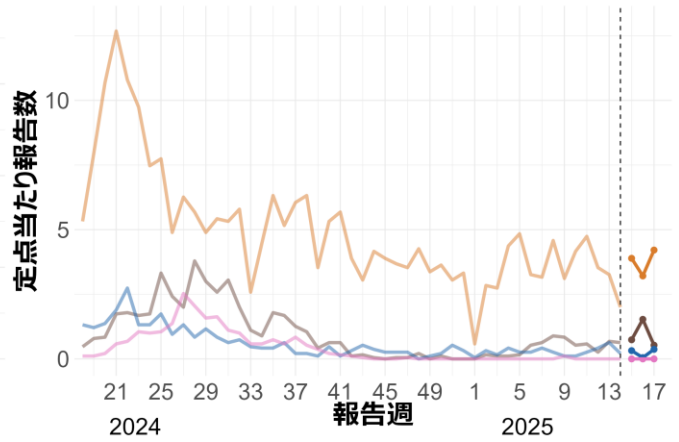
### 和歌山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



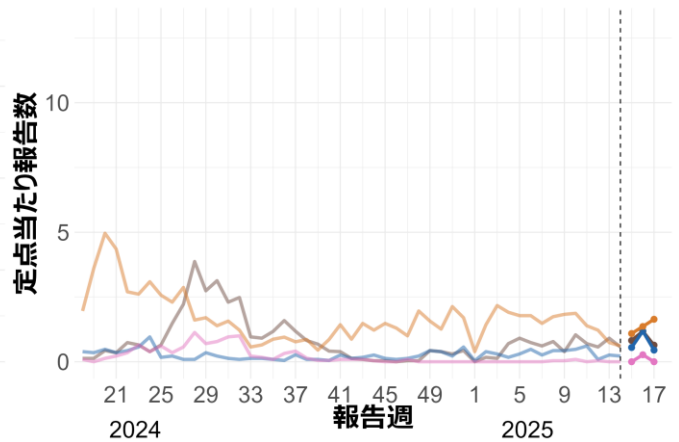
## 鳥取県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



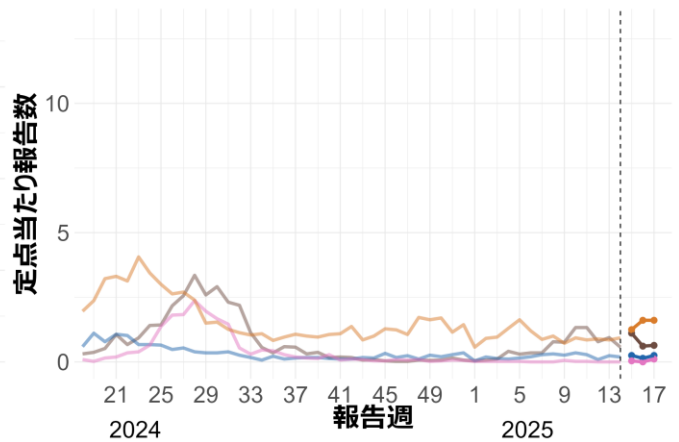
## 島根県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



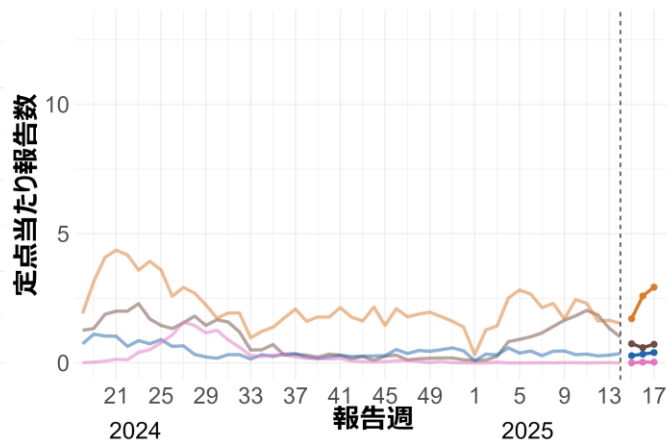
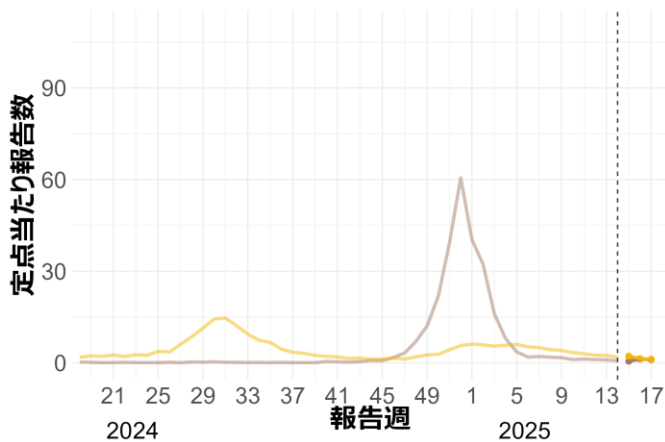
## 岡山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



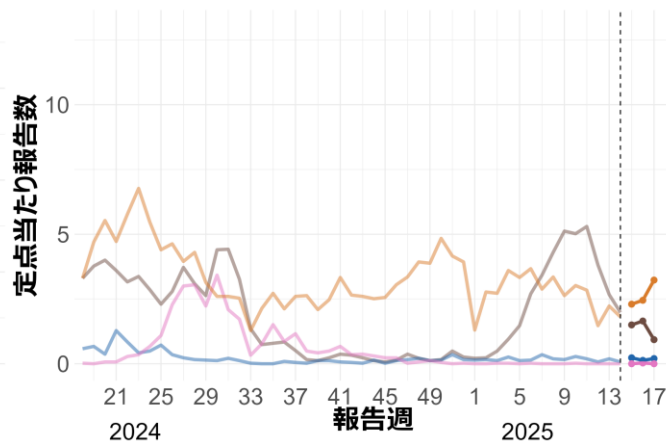
## 広島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



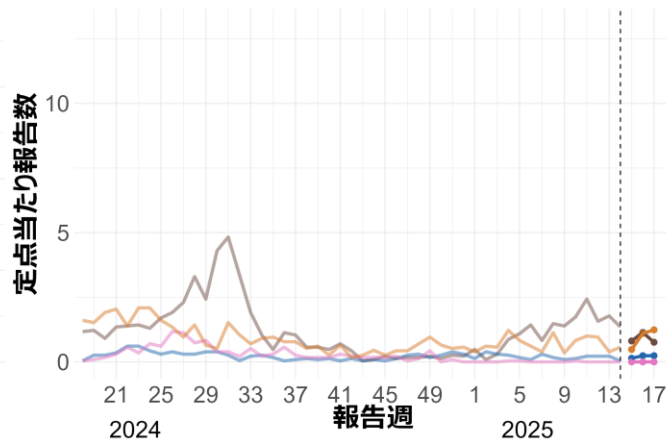
## 山口県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 徳島県

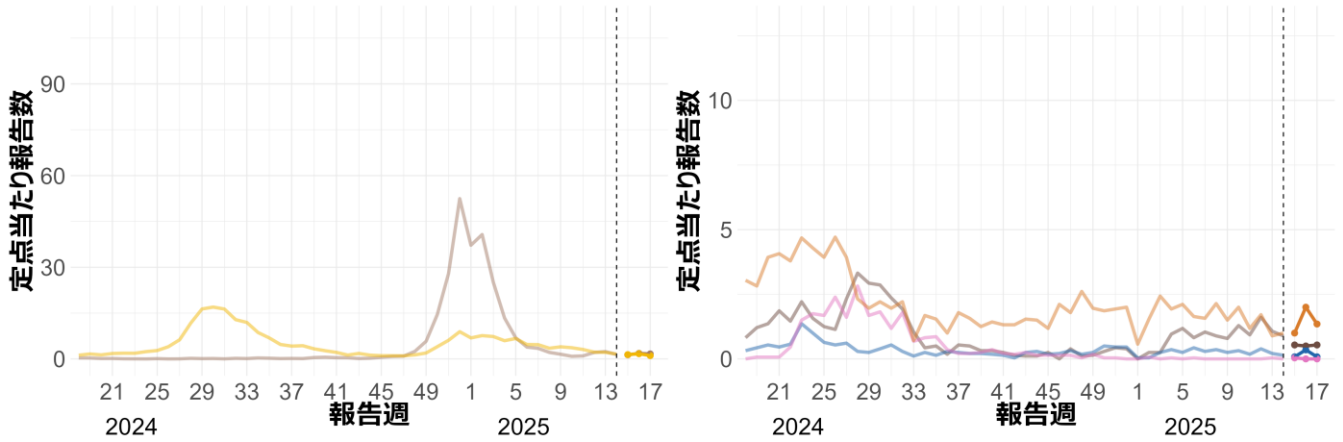
インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎





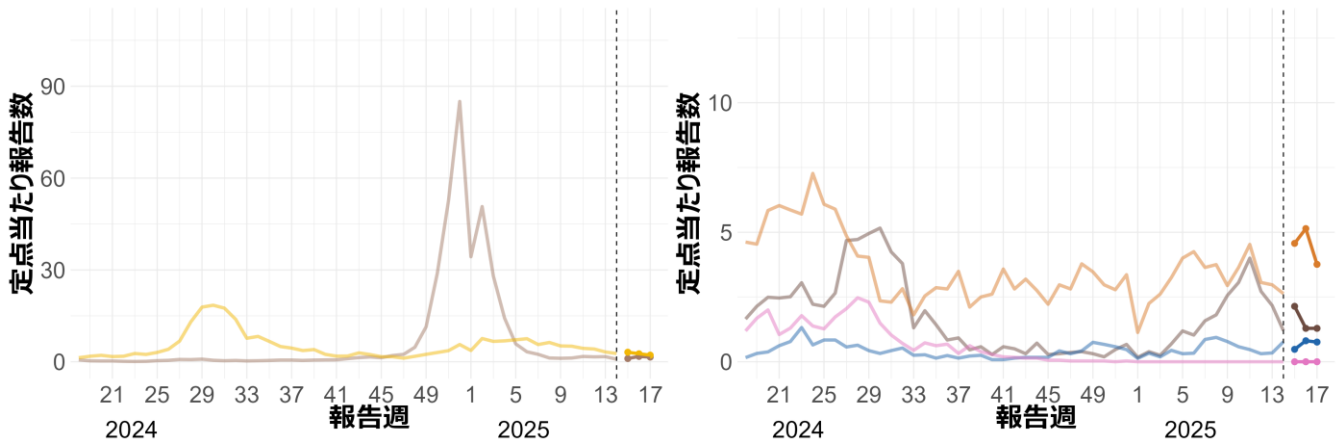
## 香川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



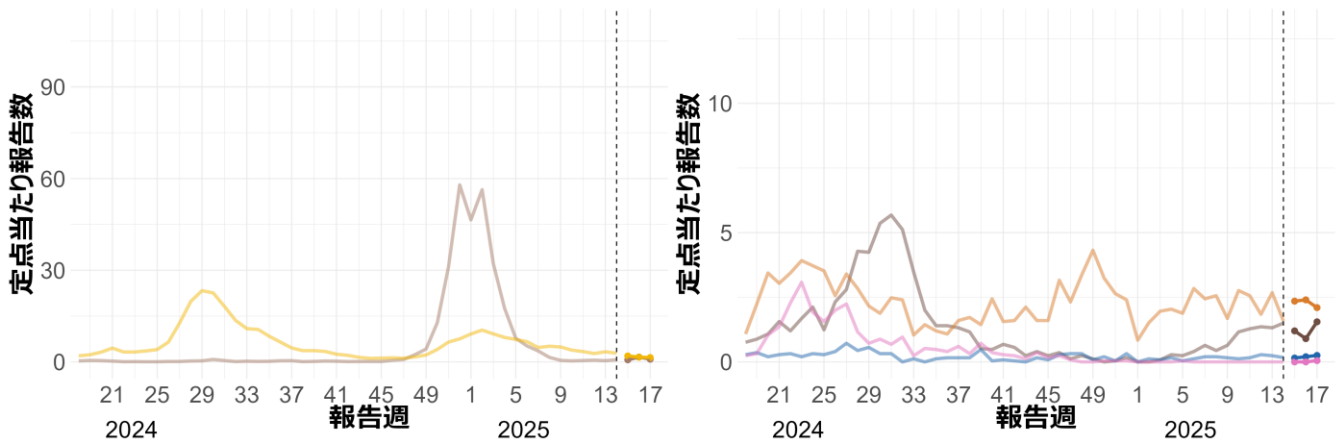
## 愛媛県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



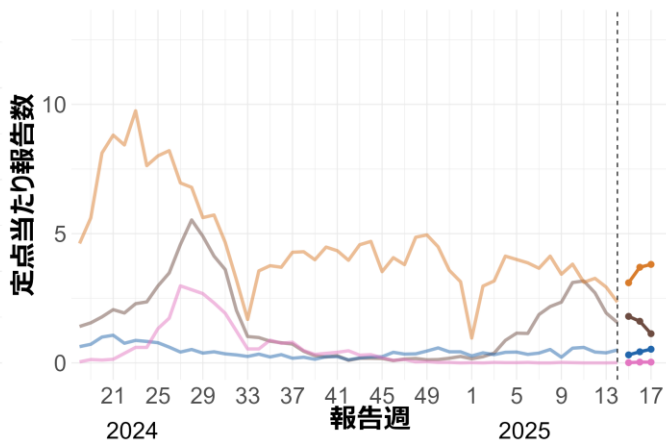
## 高知県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



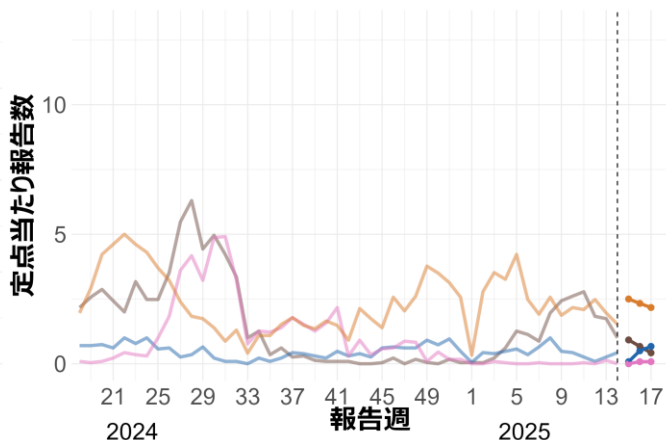
### 福岡県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



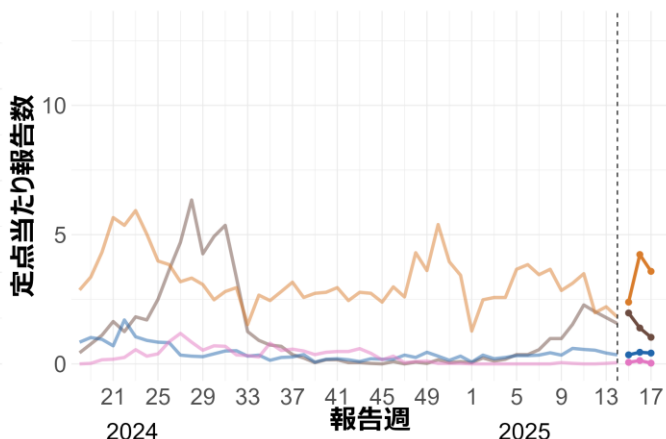
### 佐賀県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



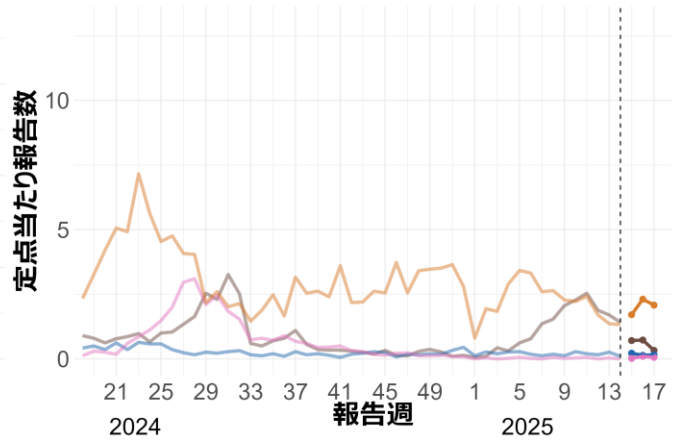
### 長崎県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



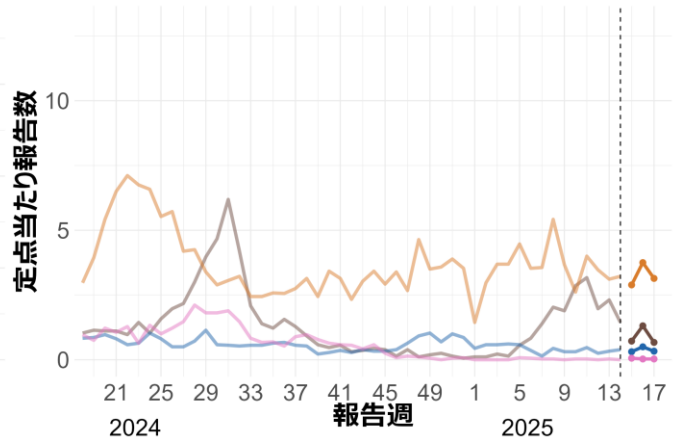
### 熊本県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



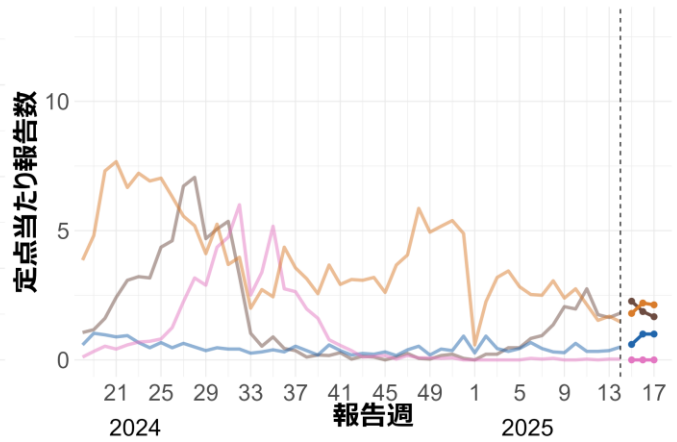
### 大分県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

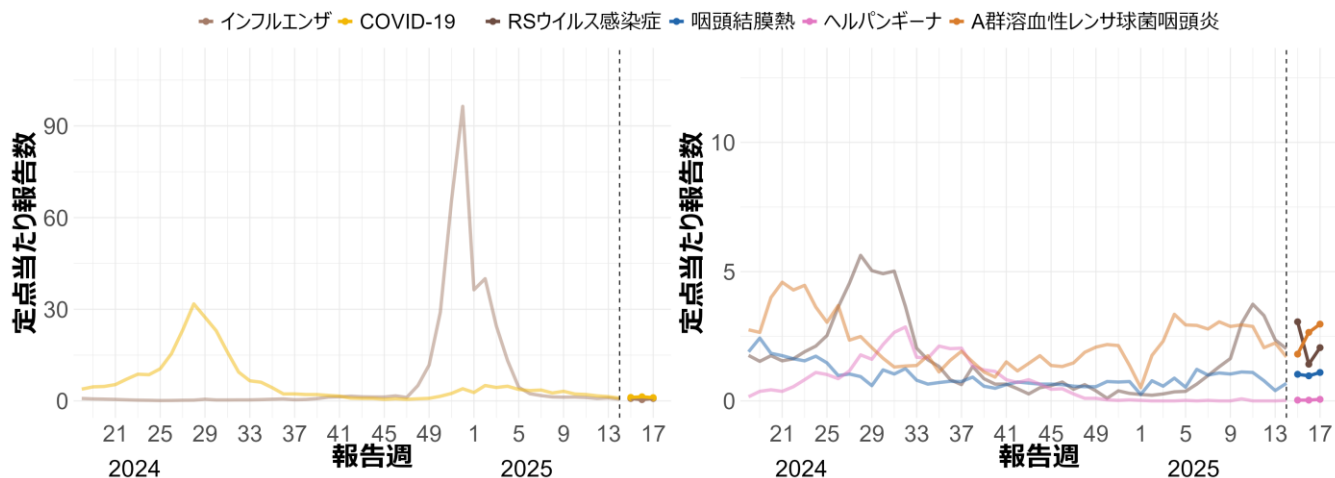


### 宮崎県

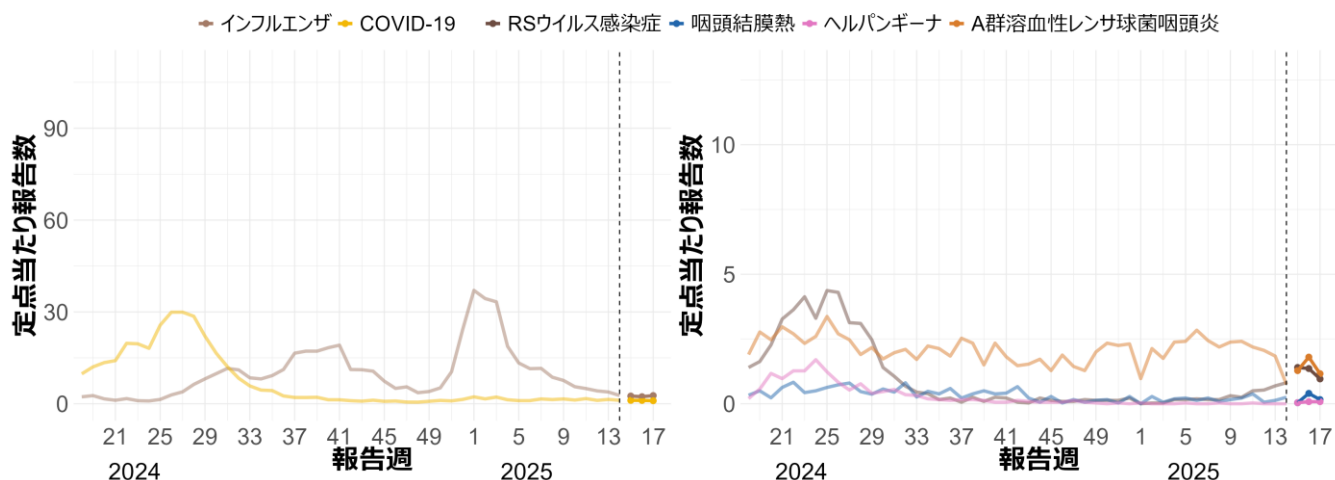
インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 鹿児島県



## 沖縄県



出典: 感染症発生動向調査(2025年4月30日時点, データ範囲: 2024年4月29日~2025年4月27日)

注) 報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

注) 定点数の変更をうけて、2025年第14週および第15週の間に点線を入れ、濃淡で区別している。

注) 2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点(約5,000医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000医療機関)に変更、小児科定点は約3,000医療機関から約2,000医療機関に変更された。